



岡山県古代吉備文化財センター

Okayama Prefectural Ancient Kibi Cultural Properties Center

年 報 4

Annual report 4

< 令和6年度 >

2025年

岡山県古代吉備文化財センター

序

岡山県の埋蔵文化財行政の本格的体制整備は、昭和42年に山陽新幹線建設に伴う記録保存調査に対応することを目的として、社会教育課に専門職員を配置したことがその先駆けとなりました。その後、急増する大規模開発に伴い、昭和51年に発掘調査の拠点として設置された文化課分室を経て、昭和59年11月に岡山県古代吉備文化財センターが、県内の埋蔵文化財の保護と活用を図る拠点施設として開所されました。以降、センターは試掘確認調査と記録保存調査の実施、調査記録と出土品の収蔵管理、公開活用事業を担い、現在に至ります。

こうしたセンターが果たす役割と責務を広く周知するため、県の埋蔵文化財の保護保存・公開と活用の記録として、実施した諸事業をまとめたものが本年報です。

令和6年度は試掘確認調査として3事業を、記録保存調査として6事業を実施しました。併せて、5事業について報告書作成を行い、このうち2事業について、その成果を2冊の報告書として刊行することができました。また「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環で、保存活用総合調査として史跡備中国分尼寺跡の発掘調査と報告書作成も実施しています。

公開活用事業としては、講座や報告会などに加え、当センター開所40周年を記念して展覧会やシンポジウムを実施し、延べ13,744名もの皆様に御参加いただきました。また、7遺跡について発掘調査の現地説明会を実施し、その成果を地域・県民の皆様に紹介しました。

こうしてセンターの事業を円滑に進める事ができましたのも、様々に御支援いただいた、地域の皆様をはじめとする多くの方々のお力添えあつてのことと感謝申し上げます。

本書が、地域史の解明や研究に広く寄与し、今後の取り組みへの道標となるとともに、埋蔵文化財保護のための資料となり、文化財保護意識の高揚へと繋がることを切に願います。

令和7年10月31日

岡山県古代吉備文化財センター
所 長 奥 山 修 司

例 言

- 1 本書は、岡山県古代吉備文化財センターが令和6年度に実施した事業の概要報告である。
- 2 本書中、「調査位置図」等の地形図には、国土交通省国土地理院発行の1/25,000・1/50,000地形図を複製及び加筆して使用している。
- 3 本書の執筆は各担当者が分担し、文末に示した。編集は調査第一課第一班が担当した。

目 次

序

例 言

目 次

第1章 施設の概要	1
第2章 埋蔵文化財保護行政組織	3
第3章 事業の概要	5
第1節 発掘調査事業	5
(1) 国庫補助事業	5
(2) 県関係事業	5
(3) 国等機関関係事業	6
第2節 報告書作成・刊行事業	6
(1) 県関係事業	6
(2) 国等機関関係事業	6
第3節 資料の収蔵管理と保存処理	6
(1) 収蔵管理	6
(2) 遺物の保存処理	7
第4節 公開活用事業	8
(1) 講座・シンポジウム・報告会	8
(2) 発掘調査現地説明会・現場見学等	9
(3) 体験学習等	10
(4) 展示	12
(5) 講師派遣	14
(6) 刊行物等	15
(7) 資料貸出・掲載許可・資料調査対応	16
(8) ホームページ・メールマガジン	21
(9) おかやま全県統合型GIS	21
第5節 教育支援事業	22
(1) センター施設・発掘調査現場見学	22
(2) 津島遺跡見学	22
(3) 職場体験・出前授業等	23
第6節 市町村支援事業	24
(1) 町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査・報告書作成	24
第7節 専門職員研修等	24
(1) 所内研修	24

(2) 埋蔵文化財担当職員研修会	24
(3) 埋蔵文化財保護行政基礎講座（岡山県版）受講	25
(4) 奈良文化財研究所文化財担当者研修受講	25
(5) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会受講	25
第8節 調査指導会等	25
(1) 埋蔵文化財保護調査指導会	25
(2) 埋蔵文化財専門委員による現地指導	26
(3) 史跡備中国分尼寺跡ほか調査指導会	26
第9節 古代歴史文化に関する共同調査研究事業	27
第10節 労働安全衛生	27
(1) 安全衛生委員会	27
(2) 各種資格取得・受講	28
第11節 施設等の修繕	28
第12節 文化財保護法に基づく提出書類	29
(1) 史跡の現状変更許可申請（法第125条）	29
(2) 埋蔵文化財試掘確認調査の報告（法第99条）	29
(3) 埋蔵文化財発掘調査の報告（法第99条）	29
(4) 埋蔵文化財発見の通知（法第100条第2項）	30
第4章 調査の概要	31
第1節 試掘確認調査概要	31
(1) 一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査（福田湯田遺跡・高尾上ノ畑遺跡）	31
(2) 一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査（滝谷川遺跡）	33
(3) 県道長屋賀陽線拡幅工事に伴う確認調査（位田遺跡）	34
第2節 発掘調査概要	35
(1) 高梁川河川整備事業に伴う発掘調査（酒津遺跡）	35
(2) 一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査（高尾宮ノ前遺跡・福田湯田遺跡）	37
(3) 広域河川改修事業（干田川）に伴う発掘調査（向山遺跡）	39
(4) 県道園井里庄線地方道路改築に伴う発掘調査（園井土井遺跡）	40
(5) 水島港唐船線改築工事に伴う発掘調査（中津遺跡）	41
(6) 通常砂防事業（カナザコ川）に伴う発掘調査（至孝農遺跡）	42
第3節 「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	43

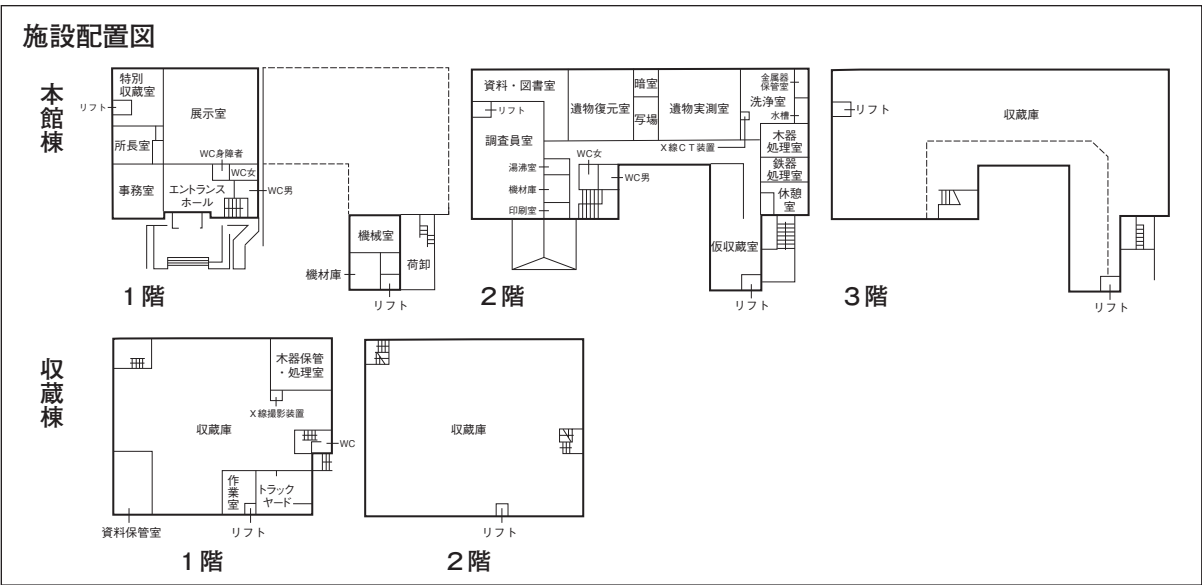
第1章 施設の概要

- 1 設 置 昭和59年11月1日（昭和59年9月25日岡山県条例第28号）
- 2 位 置 岡山県岡山市北区西花尻1325-3
- 3 施設規模

敷 地 53,688㎡（センター敷地52,738㎡ 三手収蔵庫敷地950㎡）

建 物 4,925㎡

種別	室 名		面積（㎡）	種別	室 名		面積（㎡）	
本館棟	一階	エントランスホール	44	児童学習室			236	
		所 長 室	31	渡 り 廊 下			39	
		事 務 室	48	収蔵棟	地階	ポンプ室消防水槽	23	
		展 示 室	177			一階	収 蔵 庫	601
		特別収蔵室	52				木器保管・処理室	70
		機 械 室	32				資料保管室	59
		そ の 他	82				作 業 室	37
		小 計	466		そ の 他		146	
	二階	調 査 員 室	146		二階	小 計	913	
		資料・図書室	85			二階	収 蔵 庫	875
		遺物復元室	88				そ の 他	38
		写 真 室	35				小 計	
		遺物実測室	116	合 計		1,849		
		洗 浄 室	84	三手収蔵庫			497	
		三階	木器処理室	31	総 計			4,925
			鉄器処理室	24				
			休 憩 室	23				
			仮収蔵室	94				
			そ の 他	181				
			小 計	907				
	収 蔵 庫		931					
	合 計		2,304					



4 沿革

昭和59年11月 開所
平成4年7月 収蔵棟完成
平成6年11月 開所10周年記念行事
平成9年10月 ホームページ開設
平成16年4月 展示室の休日公開開始
遺跡地図情報システム公開
11月 開所20周年
平成17年3月 三手収蔵庫（岡山市北区三手93-2）
完成
平成26年9月 開所30周年記念シンポジウム開催
令和6年11月 開所40周年記念シンポジウム開催



古代吉備文化財センター外観

5 条例

昭和五十九年九月二十五日

岡山県条例第二十八号

岡山県古代吉備文化財センター条例をここに公布する。

岡山県古代吉備文化財センター条例

（目的及び設置）

第一条 埋蔵文化財を保護するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第三十条の規定により、岡山県古代吉備文化財センター（以下「文化財センター」という。）を岡山市に設置する。

（業務）

第二条 文化財センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 埋蔵文化財の調査及び研究に関すること。
- 二 発掘により出土した文化財（次号において「出土品」という。）の整理、保存及び活用に関すること。
- 三 埋蔵文化財の発掘調査並びに出土品の整理及び保存に係る指導及び助言に関すること。
- 四 埋蔵文化財についての知識の普及及び啓発に関すること。
- 五 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財を保護するために必要な業務

（職員）

第三条 文化財センターに、所長その他必要な職員を置く。

（その他）

第四条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和五十九年十一月一日から施行する。

第2章 埋蔵文化財保護行政組織

1 令和6年度の体制

岡山県教育委員会

教 育 長	中村 正芳
教育庁	
教育次長	國重 良樹
教育次長	田中 秀和

文化財課

課 長	浜原 浩司
副 課 長	尾上 元規

埋蔵文化財班

総括副参事 (班 長)	河合 忍
----------------	------

主 任	藤井 翔平 (文化財センター兼務)
-----	----------------------

主 事	伏見 祐輝
-----	-------

岡山県古代吉備文化財センター

所 長	奥山 修司
次 長	柴田 英樹
総 務 課	
課 長	大藤 淳
副 参 事	絹輪 桂子
主 任	中江 理恵
主 任	中山 早紀
主 事	市本 潤

調査第一課

課 長	小林 利晴
第一班	
総括副参事 (班 長)	米田 克彦
副 参 事	和田 剛
主 事	杉浦香菜子
主 事	小林有紀子

第二班

総括副参事 (班 長)	松尾 佳子
主 任	藤井 雅大
主 事	平野 友梨

調査第二課

課 長	澤山 孝之
第一班	
総括副参事 (班 長)	氏平 昭則

主 事	藤井 雄一
主 事	西村 奏
主 事	河野 唯花 (総社市から派遣)

第二班

総括副参事 (班 長)	團 奈歩
----------------	------

主 事	渡邊 響
主 事	出相亜紗美 (6月～)

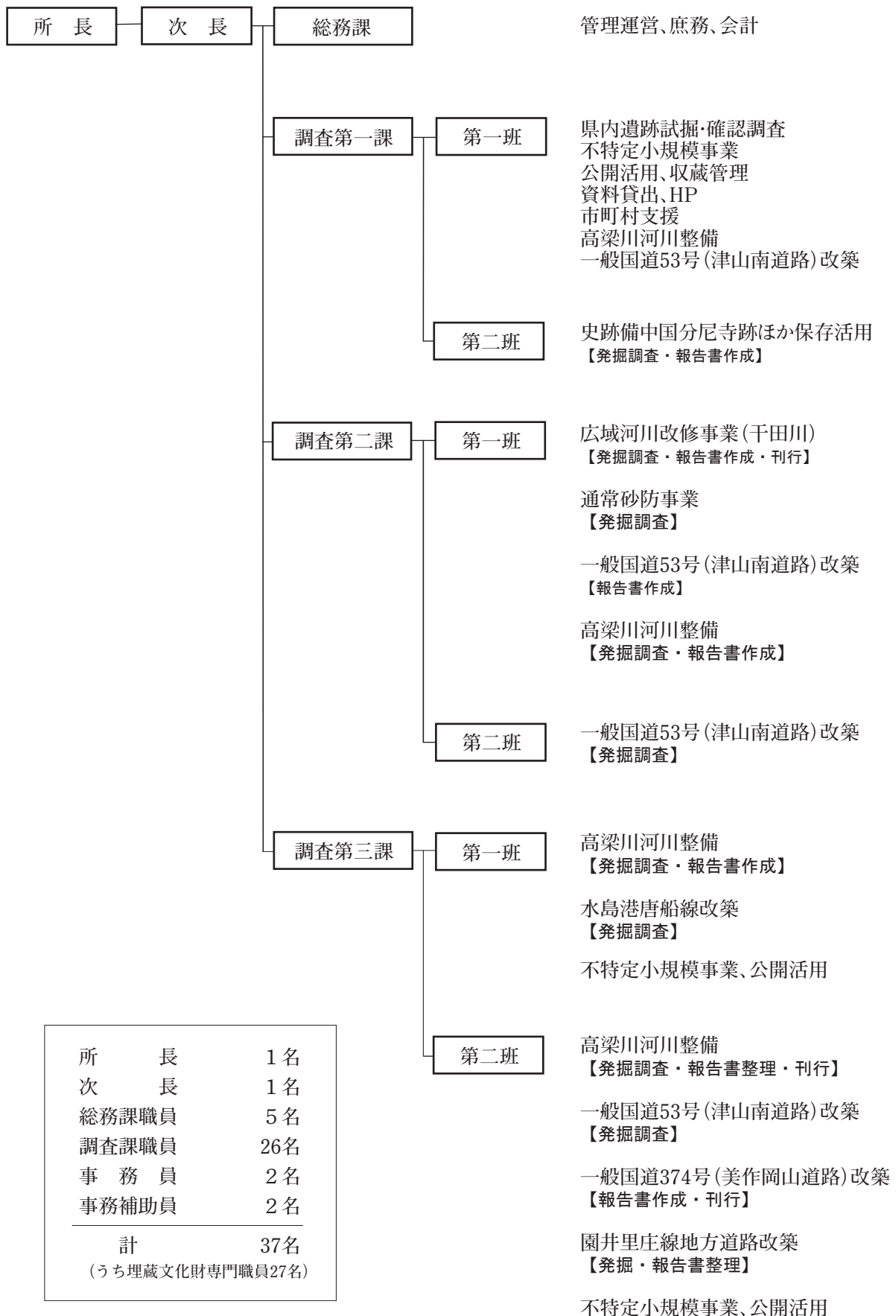
調査第三課

課 長	金田 善敬
第一班	
総括副参事 (班 長)	物部 茂樹
副 参 事	高田恭一郎
主 事	山口 香織
主 事	森本 蓮

第二班

総括副参事 (班 長)	石田 爲成
副 参 事	弘田 和司 (～9月)
副 参 事	岡本 泰典
主 事	四田 寛人
主 事	竹田 千紘

2 組織と業務



第3章 事業の概要

第1節 発掘調査事業

(1) 国庫補助事業

1 県内遺跡調査（試掘・確認調査）

開発事業者との連絡調整体制の整備を図るため、事前に開発事業予定地内の試掘・確認調査を行い、遺跡の範囲・内容等を把握し、遺跡を考慮した事業計画となるよう、保護保存に向けた基礎資料の作成を行った。

番号	原因事業	遺跡名等	調査面積	調査期間
1	一般国道 53号(津山南道路) 改築工事	福田湯田遺跡 (津山市)	84㎡	令和6年5月20日～ 6月5日
2	一般国道 374号(美作岡山道路) 改築工事	滝谷川遺跡 (美咲町)	196㎡	令和6年6月4日～ 6月14日
3	県道長屋賀陽線拡幅工事	位田遺跡 (新見市)	20㎡	令和6年6月24日～ 6月27日
4	一般国道 53号(津山南道路) 改築工事	高尾上ノ畑遺跡 (津山市)	116㎡	令和6年12月16日～ 令和7年1月14日

2 史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査

史跡備中国分尼寺跡ほかの総合的調査研究を実施し、その歴史的価値付けを行うとともに、吉備路の歴史遺産の魅力を発信し、保存と活用を図った。

番号	事業名	史跡名	調査面積	事業期間
1	史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査	史跡備中国分尼寺跡 (総社市)	345㎡	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日

(2) 県関係事業

県機関が開発事業主体である事業について依頼を受け、記録保存調査を実施した。

番号	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
1	広域河川改修事業（千田川）	向山遺跡（瀬戸内市）	400㎡	記録保存 調査	令和6年4月1日～ 6月28日
2	県道園井里庄線地方道路改築	園井土井遺跡（笠岡市）	1,420㎡	記録保存 調査	令和6年5月1日～ 9月30日
3	水島港唐船線改築工事	中津遺跡（倉敷市）	1,200㎡	記録保存 調査	令和6年6月1日～ 10月31日
4	通常砂防事業（カナザコ川）	至孝農遺跡（鏡野町）	1,170㎡	記録保存 調査	令和6年7月1日～ 10月29日

(3) 国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である2事業について委託を受け、記録保存調査を実施した。

番号	事業名	遺跡名	調査面積	種別	事業期間
1	一般国道53号（津山南道路）改築工事	高尾宮ノ前遺跡（津山市）	585㎡	記録保存調査	令和6年4月1日～6月19日
		福田湯田遺跡（津山市）	3,000㎡	記録保存調査	令和6年5月22日～令和7年3月31日
2	高梁川河川整備事業	酒津遺跡（倉敷市）	675㎡	記録保存調査	令和6年4月1日～5月31日、10月1日～令和7年3月31日

第2節 報告書作成・刊行事業

(1) 県関係事業

県機関が開発事業主体である3事業について、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

番号	事業名	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う発掘調査	大林遺跡 城田遺跡 宮坂遺跡（美作市）	作成 刊行	令和6年4月1日～9月30日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告271
2	広域河川改修事業（千田川）	向山遺跡（瀬戸内市）	作成	令和6年11月1日～令和7年3月31日	令和7年度刊行予定
3	県道園井里庄線地方道路改築	園井土井遺跡（笠岡市）	作成	令和6年10月1日～令和7年3月31日	令和7年度刊行予定

(2) 国等機関関係事業

国等機関が開発事業主体である2事業に関して委託を受け、発掘調査報告書等を作成、刊行した。

番号	事業名	遺跡名	内容	作成期間	報告書名
1	一般国道53号（津山南道路）改築工事	高尾宮ノ前遺跡・高尾宮ノ前古墳群（津山市）	作成	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年度刊行予定
2	高梁川河川整備事業	水江遺跡（倉敷市）	作成 刊行	令和6年4月1日～12月20日	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告270
		酒津遺跡（倉敷市）	作成	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和8年度以降刊行予定

第3節 資料の収蔵管理と保存処理

(1) 収蔵管理

報告書作成のための作業が終了した遺物について、報告書掲載遺物をA、非掲載図化遺物をB、非掲載未図化遺物をC、の3区分を行い、台帳作成の上、計24箱を収蔵した。いずれもAについては本館棟3階収蔵庫、B・Cについては収蔵棟で保管管理している。

番号	遺跡名	掲載報告書名	A箱数	B・C箱数	計
1	水江遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告270	3	4	7
2	大林遺跡 城田遺跡 宮坂遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告271	9	8	17
計			12	12	24

(2) 遺物の保存処理

1 木製品

7遺跡、6冊の発掘調査報告書に関係する102点の木製品について、PEG含浸処理作業及び表面処理を継続した。そのうち、県報告173の津島遺跡11点、県報告190の津島遺跡15点、県報告239の百間川原尾島遺跡24点、百間川沢田遺跡2点についての保存処理を完了した。

番号	遺跡名	報告書名	PEG含浸保存処理		表面処理 点数
			作業点数	完了点数	
1	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 173	—	—	11
2	津島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 190	15	15	15
3	百間川原尾島遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 239	24	24	24
4	百間川沢田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 239	2	2	2
5	前田遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 244	26	26	—
6	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 245	3	3	—
7	岡山城二の丸跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 247	21	21	—
計			91	91	52

2 金属製品

発掘調査報告書作成及び保存のため、26遺跡の金属製品について、X線撮影26カット、錆落とし203点、脱塩処理128点、BTA処理87点、樹脂含浸処理235点、表面樹脂塗布処理253点行った。

番号	遺跡名	処理内容 (点数)					
		X線撮影 (カット数)	錆落とし	脱塩	BTA処理	樹脂含浸	樹脂塗布
1	辺谷中田遺跡	—	—	25	2	27	27
2	水口遺跡	—	—	1	2	3	3
3	谷山遺跡	—	—	3	—	3	3
4	成ル古屋遺跡	—	—	9	—	9	9
5	辺谷製鉄遺跡	—	—	1	1	2	2
6	大河内遺跡	—	—	1	5	6	5
7	及遺跡	—	—	4	3	7	3
8	小池谷遺跡	—	—	1	3	4	3
9	上相遺跡	—	—	—	1	1	1
10	鍛冶屋釜 A 古墳群	—	—	1	—	1	—
11	前田遺跡	—	—	3	—	3	—
12	岡山城二の丸跡 (245)	—	—	—	19	19	19
13	百間川二の荒手	—	—	5	4	9	4
14	岡山城二の丸跡 (247)	—	—	16	47	47	47
15	神明遺跡	—	—	—	—	35	67
16	高尾北ヤシキ古墳	—	—	—	—	1	1
17	高尾宮ノ前遺跡	9	130	—	—	—	—
18	大林遺跡	9	—	—	—	—	1
19	城田遺跡	3	—	—	—	—	—
20	宮坂遺跡	3	5	—	—	—	—
21	酒津遺跡	—	7	—	—	—	—
22	園井土井遺跡	—	18	—	—	—	—
23	備中国分尼寺	—	38	—	—	—	—
24	向山遺跡	—	5	—	—	—	—
25	八幡大塚古墳群	2	—	50	—	50	50
26	中ノ谷横穴墓	—	—	8	—	8	8
計		26	203	128	87	235	253

第4節 公開活用事業

(1) 講座・シンポジウム・報告会

1 開所40周年記念 吉備の考古学講座

発掘調査によって明らかとなった「吉備の歴史」をわかりやすく伝える講座。開所40周年を記念し、センター職員が近年の発掘調査成果を紹介したうえ、その遺跡や時代の歴史についての研究成果を報告して参加者の理解を深めた。令和6年度は2回実施した。

本講座は岡山県立図書館との連携講座である。

会 場：岡山県立図書館多目的ホール



第2回講座の様子

	日 時	内 容・講 師	参加者数
第1回	令和6年 8月24日（土） 13：30～16：00	「マキサヤ遺跡、神明遺跡ほかの調査成果」 「弥生～古墳時代の吉備を探る」 調査第一課総括副参事 松尾佳子 調査第三課総括副参事 石田為成	121名
第2回	令和6年 9月21日（土） 13：30～16：00	「こうもり塚古墳、佐良山古墳群の調査成果」 「古墳時代中・後期の吉備の交友関係を探る」 調査第三課主事 四田寛人 調査第三課長 金田善敬	129名

2 開所40周年記念シンポジウム「古代吉備の謎に迫る！－吉備を育てた風土と交流－」

開所40周年を記念して、「古代吉備の謎に迫る！－吉備を育てた風土と交流－」をテーマに、第一線で活躍されている考古学研究者を講師に迎え、近年の発掘調査成果を踏まえながら、立地環境とそれを活かした生産や交流の観点から弥生・古墳時代の吉備の特性を考えるシンポジウムを行った。

会 場：岡山県立美術館ホール

開 催 日：令和6年11月23日（土）

参加者数：178名



北條芳隆氏の講演

内 容・講 師
基調講演 「古墳の祭りと吉備－景観史の観点から考える－」 東海大学教授 北條 芳隆
討 論 「古代吉備の謎に迫る！－吉備を育てた風土と交流－」 パネラー：北條 芳隆（東海大学 教授） 大久保徹也（徳島文理大学 教授） 金田 善敬（調査第三課長） 石田 為成（調査第三課 総括副参事） コーディネーター：小林 利晴（調査第一課長）



大久保徹也氏の討論

3 開所40周年記念「大地からの便り2024―県内の発掘調査報告会―」

近年の発掘調査で注目された県内の3遺跡に加え、開所40周年を記念して、「地下の弥生博物館」として全国的に注目されている鳥取県の史跡青谷上寺地遺跡についても映像を交えながら報告し、その成果を知る機会とし、郷土の歴史や埋蔵文化財に対する知識を深めた。

会 場：岡山県立博物館 講堂

開 催 日：令和6年7月6日（土）

参加者数：122名

番号	報告遺跡名	報告機関	講師
1	史跡青谷上寺地遺跡(鳥取県鳥取市)	鳥取県立青谷かみじち史跡公園	門脇隆志
2	高尾宮ノ前遺跡(津山市)	岡山県古代吉備文化財センター	藤井雄一
3	史跡備中国分尼寺跡(総社市)	岡山県古代吉備文化財センター	平野友梨
4	津島岡大遺跡(岡山市)	岡山大学文明動態学研究所	野崎貴博

(2) 発掘調査現地説明会・現場見学等

1 発掘調査現地説明会

7遺跡について発掘調査の現地説明会と現地公開をのべ9回実施し、計563名の参加者を得た。

遺跡名	開催日	対象	参加者数
向山遺跡（瀬戸内市）	令和6年6月6日（木）	地元	22名
園井土井遺跡（笠岡市）	令和6年8月7日（水）	地元	17名
史跡備中国分尼寺跡（総社市）	令和6年9月14日（土）	一般	182名
史跡備中国分尼寺跡（総社市）	令和6年9月17日（火）～19日（木）	現地公開	81名
中津遺跡（倉敷市）	令和6年10月16日（水）	地元	34名
至孝農遺跡（鏡野町）	令和6年10月23日（水）～25日（金）	現地公開	30名
福田湯田遺跡（津山市）	令和6年10月24日（木）・25日（金）	現地公開	50名
酒津遺跡（倉敷市）	令和6年12月14日（土）・15日（日）	一般（事前申込）	116名
福田湯田遺跡（津山市）	令和7年3月14日（金）	現地公開	31名
計			563名



福田湯田遺跡の現地説明会



酒津遺跡の現地説明会

2 発掘調査現場見学等

調査現場が所在する地元小学校や公民館等から11件の依頼を受け、計635名の発掘調査現場見学者を受け入れ、発掘調査状況の説明を行った。また、史跡備中国分尼寺跡発掘調査時の見学者1,563名への説明を随時行った。

見学受入遺跡名	見学日	団体名	見学者数
向山遺跡（瀬戸内市）	令和6年6月7日（金）	瀬戸内市立美和小学校	11名
史跡備中国分尼寺跡、 こうもり塚古墳（総社市）	令和6年7月12日（金）	総社市立山手小学校	67名
至孝農遺跡（鏡野町）	令和6年8月20日（火）	鏡野町教職員	12名
史跡備中国分尼寺跡、 こうもり塚古墳（総社市）	令和6年9月4日（水）	総社市立清音小学校	64名
史跡備中国分尼寺跡（総社市）	令和6年9月24日（火）	総社市文化財保護審議会	19名
史跡備中国分尼寺跡、 こうもり塚古墳（総社市）	令和6年10月8日（火）	岡山市立旭竜小学校	27名
福田湯田遺跡（津山市）	令和6年10月24日（木）	津山市佐良山公民館	8名
史跡備中国分尼寺跡（総社市）	令和6年11月3日（日）	そうじゃ吉備路ウォーキング大会 実行委員会	322名
福田湯田遺跡（津山市）	令和7年1月30日（木）	津山市佐良山公民館	10名
史跡備中国分尼寺跡（総社市）	令和6年6月3日（月）～ 令和6年10月31日（木）	（発掘現場見学者への随時説明）	1,563名
計			2,103名

（3）体験学習等

1 夏休み企画☆ワクワク古代体験！

夏休み期間に、勾玉・鏡づくりの体験や出土品展示等を実施し、地域の歴史を身近に体感できる機会とした。

会 場：人と科学の未来館サイピア

期 間：令和6年7月30日（火）～8月2日（金）

内 容：体験 勾玉づくり、鏡づくり、弥生土器立体
パズル

展示 南山城跡のパネル・ジオラマ展示、
伊福定国前遺跡の出土品及びパネル
展示等

参加者総数：1,113名



鏡づくりの様子

2 津島遺跡やよいまつり

復元整備された史跡津島遺跡での自由参加型の古代体験を通して、津島遺跡を身近に感じる機会を提供し、埋蔵文化財の保護・保存に対する理解を深めた。なお、当日は岡山県立岡山工業高等学校の生徒20名がボランティアとして参加した。

会 場：津島やよい広場、遺跡&スポーツミュージアム（岡山県総合グラウンド内）

開催日：令和6年10月26日（土）、27日（日）

内 容：体 験 勾玉づくり、火起こし、石包丁を使った古代米の収穫、粳すり、弥生人に変身
展示見学 遺跡&スポーツミュージアムの展示解説、復元住居・建物等の説明・案内
そ の 他 会場内でのクイズラリー、土器パズル、勾玉をつもう！

参加者総数：3,169名



火起こしの様子



弥生人に変身の様子

3 吉備路ウォーク

吉備路の歴史遺産である史跡備中国分寺跡、史跡備中国分尼寺跡、史跡こうもり塚古墳を解説しながら歩いて巡り、郷土の歴史に親しむ機会とした。

開催日時：令和6年12月7日（土）10：00～12：00

開催場所：史跡備中国分尼寺跡、史跡こうもり塚古墳、総社市史跡宿小山古墳

参加者数：37名



史跡こうもり塚古墳の解説



史跡備中国分尼寺跡の解説

4 吉備の史跡を巡る

吉備の史跡、特に地域のアイデンティティーの象徴である山城を巡りながらその沿革を学ぶことで、地域の歴史に親しむ機会とした。説明では、パンフレット『岡山の戦国争乱と城 第2巻 「天神山城の戦い」と城』を用いた。

開催日時：令和7年1月25日（土）13：00～16：00

開催場所：茶臼山城跡（赤磐市周匝^{すさい}）

参加者数：47名



茶臼山城跡の解説

5 津島遺跡ボランティア

津島遺跡を中心とした埋蔵文化財に関する普及啓発活動の運営を円滑に進めるため、平成22年度から津島遺跡ボランティアを結成し、15年目を迎えた。令和6年度は13名の登録を得て、各種の公開活用事業において活動した。

活動実績

ボランティア連絡会議3回

ボランティア研修9回（体験、講座等の聴講）

津島遺跡小学校見学対応：10校

夏休み企画☆ワクワク古代体験！・津島遺跡やよいまつりスタッフ参加

津島遺跡やよい農園田植え・稲刈り・麦播き

（4）展示

1 開所40周年記念テーマ展「吉備から岡山へー最新の発掘調査成果からー」

開所40周年記念の展覧会で、近年の発掘調査で見つかった出土品を展示し、人々の暮らしやまつり、墓や城などの特徴に迫り、かつて吉備と呼ばれた地域の歴史について紹介した。主な展示遺物は、袈裟^{さだすき}摩文銅鐸（総社市・神明遺跡出土、岡山県指定重要文化財）、単鳳環頭大刀柄頭^{たんほうかんとう}ほか（総社市・こ^けうもり塚古墳出土、総社市指定重要文化財）、勾玉（浅口市・城殿山遺跡^{じょうでんざん}出土）、陶棺（津山市・桑山南1号墳出土）、石硯・切羽^{いしすずり}（倉敷市・南山城跡^{せっぽ}出土）、備前焼軒平瓦（備前市・特別史跡旧閑谷学校出土）などである。

6月22日（土）、7月6日（土）、20日（土）には当センター職員、7月13日（土）・14日（日）には中学生・高校生のジュニア解説員7名による展示解説を行った。

会 期：令和6年6月20日（木）～7月21日（日）

会 場：岡山県立博物館（岡山市北区後楽園1-5）

入館者数：2,509名



展示の様子

2 古代吉備文化財センター展示室

展示室において、常設展示、2回の企画展示を行った。入館者数は5,131名（小学校等の施設見学者数含む）であり、年間開館日数は355日であった。

種別	会期	タイトル・テーマ
企画展1	令和6年4月17日（水）～10月14日（月）	おかえりなさい！ 『発掘された日本列島2023』展出品遺物
企画展2	令和6年10月17日（木）～令和7年4月13日（日）	吉備の弥生集落



企画展1「おかえりなさい！『発掘された日本列島2023』展出品遺物」



企画展2「吉備の弥生集落」



展示替えの様子



常設展示

月別展示室入館者数

年	月	入館者数	入 館 者 数 内 訳								開館 日数	1日平均 入館者数	
			個 人 (うち子ども)	団 体									
				一 般		学 校		小 計					
				団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数				
R 6	4	478	374	(25)	6	48	1	56	7	104	30	15.9	
	5	872	346	(8)	6	98	4	428	10	526	30	29.1	
	6	455	284	(21)	6	42	2	129	8	171	29	15.7	
	7	284	253	(14)	3	20	1	11	4	31	31	9.2	
	8	246	246	(23)	0	0	0	0	0	0	30	8.2	
	9	374	264	(12)	6	110	0	0	6	110	30	12.5	
	10	447	258	(14)	7	189	0	0	7	189	31	14.4	
	11	510	330	(12)	2	45	1	135	3	180	30	17.0	
	12	200	165	(11)	4	30	1	5	5	35	27	7.4	
R 7	1	369	271	(15)	3	81	11	17	14	98	28	13.2	
	2	359	309	(19)	4	50	0	0	4	50	28	12.8	
	3	537	369	(39)	12	168	0	0	12	168	31	17.3	
合 計		5,131	3,469	213	59	881	21	781	80	1,662	355	14.5	
参考 R 5 年度		(4,195)	(2,419)	(205)	(57)	(669)	(18)	(1,107)	(75)	(1,776)	(355)	11.8	

(5) 講師派遣

依頼を受けて職員を派遣し、体験学習、講座講師を行った。派遣数は15回で、受講者総数は1,574名であった。

講座・講演内容	開催日	団体名	担 当	受講者数
宇喜多氏と毛利氏の激戦の舞台	令和6年7月26日（金）	岡山市立御南西公民館	副参事 和田 剛	43名
赤磐市シンポジウム 「検証！鳥取上高塚は前方後円墳なのか」	令和6年8月3日（土）	赤磐市教育委員会	調査第三課長 金田善敬	80名
古代のお話と勾玉づくり	令和6年8月5日（月）	岡山市立建部公民館	総括副参事 米田克彦	4名
夏休みフリー塾 2024（勾玉づくり）	令和6年8月6日（火）	岡山市立東公民館	総括副参事 米田克彦	36名
佐良山の遺跡講演会	令和6年8月8日（木）	津山市立佐良山公民館	総括副参事 米田克彦	17名
土器づくりほか	令和6年8月19日（月）	おひさま高島事業所	総括副参事 米田克彦 主事 杉浦香菜子	22名
史跡彦崎貝塚歴史講座 「原始のアクセサリー」	令和6年9月6日（金）	岡山市立灘崎公民館	総括副参事 米田克彦	18名
青谷かみじちフェスタ	令和6年11月3日（日）	鳥取県立青谷かみじち 史跡公園	総括副参事 米田克彦 主事 杉浦香菜子	46名
さら山時代祭	令和6年11月10日（日）	さら山時代祭実行委員会	総括副参事 團 奈歩 主事 渡邊 響 主事 出相亜紗美	106名
智頭往来志戸坂峠越見学会	令和6年11月17日（日）	西栗倉村教育委員会	副参事 和田 剛	46名
毎戸遺跡調査成果報告シンポジウム	令和6年11月23日（土）	矢掛町教育委員会	総括副参事 松尾佳子	208名
秋の考古学講座 「飛鳥・奈良時代の吉備を学ぶ」	令和6年11月30日（土）	倉敷埋蔵文化財センター	総括副参事 松尾佳子	31名
第7回古代歴史文化講演会	令和6年12月8日（日）	古代歴史文化協議会	調査第一・二課	868名
公民館講座・高齢者講座	令和7年2月8日（土）	和気町教育委員会	総括副参事 松尾佳子	21名
造山古墳ボランティアガイド養成講座	令和7年3月9日（日）	岡山市立高松公民館	総括副参事 米田克彦	28名

(6) 刊行物等

1 所報吉備

センターの事業・活動を広く周知するため、年間2冊（第77号、第78号）を刊行した。特に第77号は開所40周年記念の特集を収載し、デザインを刷新した。

体 裁：カラー印刷 A4判、8頁

刊行部数：1,000部

2 パンフレット『史跡備中国分尼寺跡』

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環として、吉備路周辺に所在する遺跡に親しむ機会とするためのパンフレットを刊行した。

体 裁：カラー印刷、A4判（巻き三つ折り）、6頁

内 容：吉備路に所在する史跡備中国分尼寺跡の発掘調査成果について、写真やイラストを用いて分かりやすく紹介。吉備路周辺の歴史遺産マップも掲載。

刊行部数：10,000部

3 パンフレット『岡山の戦国争乱と城 第2巻「天神山城の戦い」と城』

県内に所在する中・近世城館の魅力発信を目的に、『岡山県中世城館跡総合調査』の成果を活用して著名な合戦とそれに関連する城館を紹介し、地域のアイデンティティを醸成するパンフレットを刊行した。

体 裁：カラー印刷、A4判、8頁

内 容：和気町・赤磐市・備前市の2市1町の城館5城を掲載

刊行部数：5,000部



『所報吉備』第77号



パンフレット『岡山の戦国争乱と城』

(7) 資料貸出・掲載許可・資料調査対応

1 収蔵遺物資料貸出

14件、計255点の収蔵遺物資料貸出を行った。

	依頼者	資料名	点数	目的	期間
1	岡山県立博物館	加茂政所遺跡出土弥生土器 津島遺跡出土弥生土器 上東遺跡出土弥生土器 百間川沢田遺跡出土弥生土器 大河内遺跡出土弥生土器、勝間田焼 刑部遺跡出土弥生土器 中撫川遺跡出土弥生土器、円面硯 鬼城山出土円面硯 原尾島遺跡出土須恵器、土師器 雄町遺跡出土緑釉陶器 津寺遺跡出土土師器、銭 新邸遺跡出土鉛弾 郷ノ溝遺跡出土鉛弾 仏生田遺跡出土鉛弾、弥生土器 百間川原尾島遺跡出土瓦経 岡山城二の丸跡出土軒丸瓦 上東遺跡出土製塩土器 西江遺跡出土特殊器台、特殊壺 高塚遺跡出土突線流水文銅鐸、貨泉、棒状銅製品 津島遺跡出土木製品 特別名勝・国指定史跡岡山後楽園出土花交の池木樋管	71	展示	令和6年4月1日（月） ～令和7年3月31日（月）
2	大阪府立弥生文化博物館	百間川原尾島遺跡出土打製石庖丁 菰池遺跡出土打製石庖丁	2	展示	令和6年4月1日（月） ～令和7年3月31日（月）
3	野崎家塩業歴史館	阿津走出遺跡出土製塩土器 上東遺跡出土製塩土器	2	展示	令和6年4月1日（月） ～令和7年3月31日（月）
4	美作市教育委員会	高本遺跡出土弥生土器、土製紡錘車、須恵器、円面硯 大海庵寺出土軒丸瓦、軒平瓦、鵠尾	21	高本遺跡出土遺物： 高本公民館展示 大海庵寺出土遺物： 作東歴史民俗資料館展示	令和6年4月1日（月） ～令和7年3月31日（月）
5	東京国立博物館 九州国立博物館 NHK NHKプロモーション 朝日新聞社 メディア事業本部	西江遺跡出土特殊器台、特殊壺	2	挂甲の武人国宝指定50周年記念、九州国立博物館開館20周年記念 特別展「はにわ」展示	令和6年9月頃～ 令和7年6月上旬頃
6	島根県立古代出雲歴史博物館	津島遺跡出土土製品	1	企画展「荒神谷発見」展示	令和6年6月24日（月） ～令和6年9月30日（月）
7	糸島市立伊都国歴史博物館	上東遺跡出土弥生土器、 城遺跡出土製塩土器、絵画土器（船） 百間川原尾島遺跡出土彩文土器、鉄鑑、舟形土製品 足守川加茂A遺跡出土絵画土器（人頭龍身、船、家）、石杵 足守川加茂B遺跡出土銅鑑、銅鑑未完成品、櫛歯文鏡、動物形土製品 甬崎天神山遺跡出土鳥形土製品 足守川矢部南向遺跡出土小銅鐸 津寺遺跡出土北部九州系土器 百間川原尾島遺跡出土朱付着片口容器、勾玉 百間川兼基遺跡出土人形土製品、 津寺遺跡出土製塩土器、緑色凝灰岩製管玉、土鍾、絵画土器 加茂政所遺跡出土分銅形土製品 高塚遺跡出土突線流水紋銅鐸、棒状銅製品、貨泉、 上東遺跡出土栴浪系土器、三韓系土器、弧帯文土器、絵画文土器、 ミニチュア土器、絵画土器、骨鑑、卜骨、貨泉、分銅形土製品、漆容器 ヒロダン・小坂向遺跡出土鉄鑑、碧玉製の玉素材 百間川原尾島遺跡出土ファイアンス小玉、赤色顔料付着土器 谷の前遺跡出土銅鐸形土製品 百間川兼基遺跡出土弥生土器 百間川今谷遺跡出土ガラス滓 北溝手遺跡出土分銅形土製品	61	令和6年度伊都国歴史博物館秋季特別展「吉備と伊都国」展示	令和6年9月17日（火） ～令和6年12月13（金）
8	岡山大学 文明動態学研究所	原尾島遺跡出土磁鉄鉱 白壁奥遺跡出土磁鉄鉱	3	古代吉備における鉄鉱石の流通範囲の実態を明らかにするため、古墳時代の製鉄遺跡から出土した鉄鉱石と周辺の自然露頭で採取した鉄鉱石の両者を対象に鉛同位体比分析を実施し、詳細な産地同定を実施	令和6年8月5日（月） ～令和6年9月25日（水）
9	島根県立古代出雲歴史博物館	南山城跡出土瀬戸・美濃、青磁、青花、硯、火打ち石、砥石、瓦質土器、備前焼、土鈴、土鍾、アカニシ貝、鑑、銃弾、切羽、火打ち金、火箸、蓋、南山城跡復元模型	25	企画展「山陰の戦乱―月山富田城の時代―」展示	令和6年10月3日（木） ～令和6年12月27（金）
10	公益財団法人 元興寺文化財研究所	岡山城二の丸跡出土蒔絵鉢	1	令和6年度秋季特別展「内部を視る―文化財とX線―」展示	令和6年9月26日（木） ～令和6年11月29（金）
11	岡山県立博物館	野原遺跡群早風A地点出土旧石器	5	展示	令和6年8月29日（木） ～令和7年3月31日（月）
12	岡山大学文学部考古学研究室	津島遺跡出土人骨資料（右大腿骨）、人骨資料（左大腿骨）	2	卒業論文研究資料	令和6年11月1日（金） ～令和6年11月30（土）
13	真庭市教育委員会	谷尻遺跡出土縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、土製品、青銅器、青銅器レプリカ、石器	55	北房ふるとセンター企画展「やっぱりすげーのー、谷尻遺跡（仮）」展示	令和6年10月15日（火） ～令和6年12月13（金）
14	備前長船刀剣博物館	山根屋遺跡出土鉄剣 平岩古墳出土柄頭 寺山7号墳出土鉄刀 西山11号墳出土鉄刀	4	テーマ展「刀剣の歴史（上）古～新々刀」（仮）」展示	令和6年11月中旬 ～令和7年2月中旬

2 写真画像等資料貸出・掲載許可

45件、計240点の写真画像等資料貸出・掲載許可を行った。

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目 的
1	方谷研究会	県報告144「大成山たたら遺跡」巻頭図版1-1「B区高殿たたら全景（南西から）」	1	冊子「山田方谷とその時代」増補改訂版に掲載
2	一般社団法人はれとこ	「津島やよいまつり「弥生人に変身！」」 「R5年度「吉備の考古学講座」第2回 表題」	2	Web メディア「倉敷とことこ」への記事掲載
3	株式会社アフロ	センターホームページ「岡山市百間川兼基遺跡出土石鏃」	1	静岡県内の小学生を対象とした学習教材（プリント）に使用
4	株式会社 敬文舎	県報告100「南溝手遺跡」巻頭図版2「縄文時代後期後葉の朽痕土器」	3	『縄文を訪ねる（仮）』（安斎正人著）掲載
5	第74回全国植樹祭岡山県実行委員会	県報告 144「大成山たたら遺跡群」巻頭図版1・2	4	第74回全国植樹祭（5/26）の式典において上映する、岡山の森林等を紹介する映像に使用
6	(株) 梓書院	センターホームページ「造山古墳の空撮写真」	1	令和6年8月 梓書院から刊行予定の書籍『遺跡ツーリズムのすすめ』に掲載
7	株式会社雄山閣	高塚遺跡出土韓式系軟質土器、西江遺跡出土特殊器台・壺 県報告89「甬崎天神山遺跡」図版55-1「溝-8 土器出土状況（北から）」、県報告94「矢部南向遺跡」図版117-1「竪穴住居37 上層遺物堆積状況（南西から）」	4	『季刊考古学 別冊45 「吉備の巨大古墳と巨石墳」』に掲載
8	堺市博物館	センターホームページ「西江遺跡出土 特殊器台・特殊壺」	1	令和6年度堺市博物館企画展「ハニワ大解剖」の会場解説パネル・解説図録において埴輪の起源についての説明で使用
9	株式会社 日経サイエンス	久米三成4号墳から出土した人骨と副葬品の写真	3	別冊日経サイエンス「ゲノムで解き明かす人類史（仮）」で使用
10	新見市教育委員会	センターホームページ「西江遺跡出土特殊器台・特殊壺」 県報告144「大成山たたら遺跡」巻頭写真「2B区高殿たたら床釣り断面（南西から）」	2	新見市文化財保存活用地域計画の策定
11	総社市	県報告266「こうもり塚古墳」図版22「陶棺蓋」、図版30「環頭大刀柄頭（M2）」	2	広報そうじゃに掲載されるこうもり塚古墳出土品の市重要文化財指定に伴う企画展の知らせに使用
12	総社市	県報告266「こうもり塚古墳」巻頭図版2「環頭大刀・馬具」・「須恵器・土師器」、図版22「陶棺蓋」、図版30「環頭大刀柄頭（M2）」	4	総社市ホームページに画像を掲載
13	津山郷土博物館	県報告130「十六夜山古墳ほか」巻頭カラー図版1-1「十六夜山古墳周濠検出状況」、巻頭カラー図版1-2「十六夜山古墳出土埴輪」、県報告129「大田茶屋遺跡2ほか」巻頭図版1-2「大田西奥田遺跡・住居1」	3	十六夜山古墳：令和6年度津山郷土博物館特別展『考古資料は語る！一美作津山の古墳文化ー』で使用 大田西奥田遺跡：『郷土の津山ー中学校社会科（歴史）資料集ー』で使用
14	(株) ジャパン通信情報センター	令和5年度史跡備中国分尼寺跡現地説明会資料 掲載写真	13	月刊「文化財発掘出土情報」誌に掲載
15	(公社) 岡山県観光連盟	岡山県古代吉備文化財センター・要覧パンフレット内に掲載されている写真4点 「1 センター全体の写真」、 「2 洗浄又は復元作業の写真」、 「3 報告書数冊の写真」、 「4 収蔵庫内の写真」	4	岡山観光WEB/おか旅記事「岡山県古代吉備文化財センター開所40周年！テーマ展も 岡山県立博物館で開催中」内で使用
16	文化財保存全国協議会	県報告2「上東遺跡」図版22「東鬼川市第2橋脚位置製塩炉 カラー画像」	2	機関誌『明日への文化財』91号（2024年8月末刊行予定）への掲載
17	総社市	県報告266「史跡こうもり塚古墳」巻頭図版2「環頭大刀・馬具 須恵器・土師器」、図版22「陶棺蓋」、図版30「環頭大刀柄頭（M2）」	4	「祝！こうもり塚古墳出土品市重要文化財指定企画展」のポスターに掲載
18	株式会社新泉社	センターホームページ 特殊壺・特殊器台（新見市西江遺跡）	1	単行本『はにわのヒミツ』に掲載

第3章 事業の概要

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目 的
19	糸島市立伊都国歴史博物館	県報告2「上東遺跡」図版22「東鬼川市第2橋脚位置製塩炉 カラー画像」、図版14「亀川調査区 斜面製塩土器（脚部）」 県報告157「上東遺跡」巻頭図版1「1 遺物検出状態（南から）」、「2 遺物出土状態（東から）」 岡山県立博物館2012「邪馬台国の時代」「波止場状遺構内部の杭列」 県報告150「高塚遺跡」巻頭図版2「方形土坑156出土銅製品」、巻頭図版3「フロヤ調査区出土高塚銅鐸A面」、巻頭図版4「フロヤ調査区出土高塚銅鐸B面」、巻頭図版5「フロヤ調査区袋状土坑18（南および北から）」、「フロヤ調査区袋状土坑18出土貨泉」 岡山県立博物館2012「邪馬台国の時代」「突線流水文銅鐸の埋納状」 センターホームページ 特集記事 古代吉備を探索1 銅鐸の発見「高塚銅鐸発掘風景」 県報告173「津島遺跡」P21「建築部材出土状況」 パンフレット「百間川の遺跡群」表紙 航空写真、井戸のまつり（原尾島遺跡）、ガラスの出土した穴（兼基・今谷遺跡）、原尾島遺跡の製塩炉（後期）、塩つくりの実験、後期末の水田で、田植えの再現（沢田遺跡）、小畦や稲株跡の検出（原尾島遺跡）、小畦や稲株跡の検出（原尾島遺跡） パンフレット「百間川の遺跡探検」上空から見た百間川（航空写真・南東から）、調査された弥生時代のムラのようなす（原尾島遺跡）、水を水路から水田へ配る地点のようなす（原尾島遺跡）、杭を打ち込んだ堰（原尾島遺跡）、弥生人の足跡（原尾島遺跡） 県報告98「津寺遺跡」カラー写真図版3「西川調査区弥生時代～古墳時代の遺構（南から）」 県報告116「津寺遺跡」巻頭図版1下「古墳時代前期の水田」	31	令和6年度伊都国歴史博物館秋季特別展「吉備と伊都国」の展示図録へ掲載
20	島根県立古代出雲歴史博物館	パンフレット「発掘！南山城跡」南山城跡 発掘調査風景（空撮）、南山城跡の位置と周辺の山城跡、南山城跡の縄張り復元図 県報告257「南山城跡・南山明地古墳群・南山明地遺跡」巻頭図版7～48「天目碗（南山城跡出土）」、図版79～M154「小柄（南山城跡出土）」・小柄（南山城跡出土）X線撮影写真	6	企画展「山陰の戦乱一月山富田城の時代」のパンフレット、図録、ポスター・チラシ・WEB・テレビ・雑誌など広報媒体に使用
21	(株)新潮社	センターホームページ 特殊器台と特殊壺	1	『芸術新潮』2024年10月号（9月25日発売）特集「はにわの見方」記事挿入図として使用
22	エー・アール・ティ株式会社	センターホームページ 常山城跡遠景（南東から）	1	『月刊江戸楽』2024年11月号（10月20日発売）大石学連載「大江戸歴史巡り」でイメージカットとして使用
23	岡山県立博物館	県報告106「百間川原尾島遺跡5」巻頭図版1「1 製塩炉」	1	考古資料展示 製塩土器の説明に使用
24	備前市埋蔵文化財管理センター	県報告1「不老山東口古窯址」図版5「窯体部（東から）」 県報告167「山崎古窯跡」図版5 調査風景（南東より）	2	令和6年度企画展『海の古備前、山の古備前』冊子及び示パネルへ掲載
25	岡山県教育庁文化財課	県報告199「来光寺跡」図版5-1「盛り土遺構（西から）」、図版6-1「立石遺構（北から）」	2	『岡山県庭園悉皆調査報告書』に使用
26	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版3「フロヤ調査区出土高塚銅鐸A面」	1	株式会社ベネッセコーポレーション発行の中学生向け通信教育教材に掲載
27	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版3「フロヤ調査区出土高塚銅鐸A面」	1	株式会社ベネッセコーポレーション発行の中学生向け通信教育教材に掲載
28	岡山県危機管理課	パンフレット「発掘された久田の埋蔵文化財Ⅱ」「古墳時代初めの洪水土砂」	1	令和6年度岡山県自主防災リーダー研修会開催案内チラシへの掲載
29	真庭市教育委員会	県報告11「谷尻遺跡」図版2-1「谷尻遺跡全景」、図版21-1「2区No191、192遺構」	3	北房ふるさとセンター企画展『やっぱりすげーのー、谷尻遺跡（仮）』展チラシ、ポスターへの掲載

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目 的
30	真庭市教育委員会	県報告11「谷尻遺跡」図版2-1「谷尻遺跡全景」、図版6-1「1区No107住居址」、図版7-1「1区No107カマド」、図版13-1「1区No130土壌」、図版14-1「1区No130土壌遺物出土状態」、図版18-1「2区、3区調査前全景」、図版18-2「2区、3区掘り上げ全景」、図版20-1「2区No190住居址炭化材」、図版20-2「2区No190住居址遺物出土状態」、図版21-1「2区No191、192遺構」、図版21-2「2区No191住居址」、図版22-2「2区No192溝状遺構遺物出土状態」、図版23-1「2区No191住居址遺物出土状態」、図版23-2「2区No192溝状遺構遺物出土状態」、図版24-2「2区No191住居址上面巴形銅器出土状態」、図版25-1「2区No176土壌」、図版26-2「2区No174遺物出土状態」、図版27-2「2区No177溝」、図版28-1「2区No177遺物出土状態」、図版31-1「3区No179住居址」、図版40-2「3区全景」、図版64-1 - 66「No176住居址出土遺物のうち66の写真」、図版66-1 - 93「No176住居址出土遺物のうち93の写真」、図版66-1-94「No176住居址出土遺物のうち94の写真」、図版70-1 - 12「No191住居址出土遺物のうち11の写真」、図版70-1 - 14「No191住居址出土遺物のうち14の写真」	29	北房ふるさとセンター特別展『やっぱりすげーのー、谷尻遺跡（仮）』展パネル、小冊子、宣伝物への掲載、関連講演会スライド使用
31	株式会社新泉社	センターホームページ「矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪」	1	『埴輪ガイドブック』に掲載
32	株式会社NHKプロモーション	県報告30「久米三成4号墳」図版8-1「三成4号墳第1主体部人骨出土状態（東から）」、図版9-1「三成4号墳第2主体部人骨出土状態（西から）」	2	特別展「古代DNA」での図録、パネルでの掲載
33	山陽新聞社	「岡山県中世城跡総合調査報告書」第3冊 美作編「第355 図 鞍掛城跡縄張り図」、「第327 図 井内城跡縄張り図」、「第360 図 林野城跡縄張り図」、「第365 図 比丘ヶ城跡縄張り図」、「第192 図 岩屋城跡と陣城群」、「第250 図 荒神山城跡縄張り全体図」 パンフレット「攻略！おかやまの中世城館 第四巻（美作国西部編）」P4「⑥小坂向城山城跡 主郭」、P6「篠向城跡 畝状堅堀跡」 センターホームページ「岡山県中世城跡総合調査>テーマ学習コーナー」城の出入り「写真1 急斜面に設けられた犬走り（鏡野町河内城跡）」	9	改訂版「新釈美作太平記」（著・三好基之、監修・森俊弘）に掲載
34	岡山県立博物館	岡山市八幡大塚古墳（八幡大塚2号墳）「前方部石室石組み 西壁・奥壁（原稿図20-1・3）」、「排水溝上の石組み（原稿図21-4）」	3	発掘調査報告書に掲載
35	株式会社山陽新聞社	岡山県古代吉備文化財センター開所40周年記念シンポジウム「古代吉備の謎に迫る！ー吉備を育てた風土と交流ー」参加者配布資料（冊子）31ページ下段「こうもり塚古墳と五条野（見瀬）丸山古墳（欽明陵か）の比較」	1	新聞記事に掲載
36	株式会社ベネッセコーポレーション	県報告150「高塚遺跡」巻頭図版3「フロア調査区出土高塚銅鐸A面」	1	株式会社ベネッセコーポレーション発行の中学生向け通信教育教材に掲載
37	岡山県環境文化部環境企画課	県報告255「桑山南古墳群 細畝古墳群」巻頭図版4「桑山南1号墳出土象嵌装大刀」M1のうち、鏝（左）、側面（上から2番目）の計2カット 県報告255「桑山南古墳群 細畝古墳群」図版47「桑山南1号墳出土象嵌装大刀（クリーニング・保存処理前）」のうち、側面（保存処理前）の写真（（M1・M2））、側面のX線写真（M1・M2）、鏝のX線写真（M1）の計3カット X線透過装置 1カット	6	人形峠アトムサイエンス館に展示される「ハチの大王アトミックツアー」の映像資料として使用
38	株式会社山陽新聞社	「岡山県中世城跡総合調査報告書」第3冊 美作編 第319図「三星城跡縄張り図」	1	訂版「新釈美作太平記」（著・三好基之、監修・森俊弘）に掲載
39	株式会社 L・H陽光出版	県報告94「足守川加茂A遺跡」巻頭カラー図版7「1. 足守川加茂A遺跡竪穴住居14 出土線刻土器（1/1）」	1	「陽光子祈言集解説7」に掲載

第3章 事業の概要

番号	依頼者	遺跡名 画像等資料名	点数	目 的
40	勝央町教育委員会	県報告111「畑の平古墳群ほか」図版6-1「畑ノ平7号墳墳丘」 県報告117「小中遺跡ほか」図版15-1「1区建物1」、図版15-5「1区建物5・6」、未掲載「1区竪穴住居 人間入り」、図版43-1「4区A建物16-18」 県報告197「宮ノ上遺跡ほか」巻頭図版2-1「1号墳埋葬施設」、巻頭図版2-2「遺物：銅鏡」、未掲載「遠景：※墳丘の外観（空撮）」 県報告216「大河内遺跡ほか」巻頭図版1「縄文草創期の石器群」、図版2-1「3区全景」、図版3-2「弥生集落 土墳墓」、図版3-1「掘立柱建物1・3・溝9」、図版4-1「3区石器出土状況」、図版5-1「有舌尖頭器出土状況」 広域農道調査委員会「弥平治・能部遺跡」図版2-1「住居5含む調査区A全景」 岡山県埋蔵文化財報告4「勝間田遺跡ほか」未掲載 スライドNo.18「建物1（東から）」、未掲載 スライドNo.27「建物1（北東から）」、未掲載 スライドNo.39「瓦等出土状況」、未掲載 スライド名 県報告8「平遺跡ほか」図版10-1 p200「発掘風景（西より）」、図版14-1 p204「建物16 および鍛冶炉」、図版6-1 p196「建物6」、図版14-2 p204「鍛冶炉4」、図版23 p213「「厨」墨書土器」、第25図170p「「郡」刻印須恵器」	25	令和7年開館予定の旧勝田郡役所庁舎歴史展示室における解説パネルの製作、及び映像コンテンツ製作に使用
41	真庭市長	県報告11「谷尻遺跡」図版21-2 2区No.191、192遺構 谷尻遺跡発掘調査時の作業風景の写真データ 1カット（別紙参照）	2	北房小学校6年生が総合学習の中で作成している冊子「北房の古墳図鑑」のカットに使用
42	公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団	『岡山県中世城館跡総合調査報告書』第1冊 備前編 堀城跡縄張り図、油杉城跡縄張り図、高山城跡縄張り図、砥石城跡縄張り図、高取山城跡縄張り図 パンフレット『「天神山城の戦い」と城」山城の縄張り図の解説図	6	パンフレット「瀬戸内市の中世城館」への掲載
43	株式会社 吉備ケーブルテレビ	『岡山県中世城館跡総合調査報告書』第2冊 備中編 鬼山城縄張り図	1	歴史番組「ふるさと歴史物語No.57 唐松の山城 鬼山城と杉氏」2025年4月16日放送（30分番組）において使用
44	株式会社 筑摩書房	県報告121「奥ヶ谷窯跡」巻頭図版2「奥ヶ谷窯跡出土遺物」 県報告150「高塚遺跡」巻頭図版6「2出土土器」 県報告86「窪木薬師遺跡」巻頭カラー図版1「2. 竪穴住居-13、鉄鋌出土状況」、巻頭カラー図版4「竪穴住居-13、溝-8出土鉄鋌」	4	高田貫太『渡来人の考古学』（ちくま新書）に掲載
45	日本放送協会 制作局	県報告2「上東遺跡」（才の町調査区P-01）出土弥生土器 第31図-302～312、第32図-314～324、第33図-325～326、第34図-327～338、第35図-339～343 県報告239「百間川原尾島遺跡8 百間川沢田遺跡6」百間川沢田遺跡（土坑2）出土弥生土器 第25図-28	43	「歴史探偵 ニッポン”極上ご飯”プロジェクト(仮)」の中で弥生時代の炊飯方法について紹介するため

3 資料調査対応

大学教官、学生、都道府県・市町村埋蔵文化財専門職員等の研究、及び博物館特別展等の準備のため、依頼された収蔵資料調査に対応した。令和6年度は31件の申請、約1,010点の資料調査に対応した。

(8) ホームページ・メールマガジン

センターホームページ (<https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/>) の内容について80回更新し、計111,622回アクセスを得た。メールマガジン（岡山県メールマガジン「メルマガ晴れの国：大地からの便り」）の現在ののべ登録者数は498人であり、年間53回発行した。このほか、FacebookやInstagram、YouTube等のSNSを利用し、実施事業の広報を行った。



センターホームページ

(9) おかやま全県統合型GIS

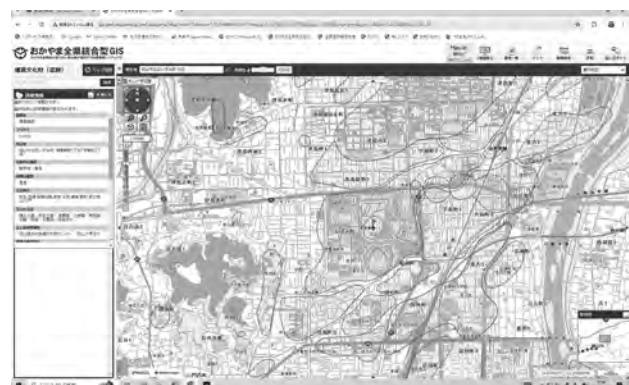
センターが発掘調査、報告書作成等で関係した県内の埋蔵文化財包蔵地情報について、情報更新票を作成した。令和6年度は既知16件についてその内容を更新し、県文化財課に提出した。この情報は県文化財課から該当市町村に照会確認を行った後、埋蔵文化財包蔵地登録更新となり、「おかやま全県統合型GIS」において公開される。

なお、本節に記した公開活用事業のうち下記のものは国庫補助事業（地域の特色ある埋蔵文化財活用事業）である。

- 吉備の考古学講座
- 夏休み企画☆ワクワク古代体験！
- 津島遺跡やよいまつり
- 吉備路ウォーク
- 吉備の史跡を巡る
- パンフレット
『史跡備中国分尼寺跡』作成
- パンフレット
『岡山の戦国争乱と城 第2巻
「天神山城の戦い」と城』作成



センター公式 YouTube チャンネル



岡山県全県統合型GIS（埋蔵文化財）

第5節 教育支援事業

(1) センター施設・発掘調査現場見学

センター施設や発掘調査現場での校外学習を受入れ、施設内の調査作業や発掘調査現場作業、出土品解説などを行い、歴史学習支援を行った。令和6年度は9校、計753名を受け入れた。

番号	見学日	学校名	人数	見学場所
1	令和6年4月30日(火)	岡山市立三門小学校	56名	センター
2	令和6年5月17日(金)	岡山市立御南小学校	127名	センター
3	令和6年5月23日(木)	岡山市立芳明小学校	95名	センター
4	令和6年5月30日(木)	岡山市立陵南小学校	144名	センター
5	令和6年5月31日(金)	岡山市立箕島小学校	62名	センター
6	令和6年6月6日(木)	岡山市立岡南小学校	65名	センター
7	令和6年6月21日(金)	岡山市立藤田第二小学校	64名	センター
8	令和6年11月8日(金)	岡山市立中山中学校	135名	センター
9	令和6年12月5日(木)	岡山市立岡山後楽館中学校	5名	センター

(2) 津島遺跡見学

史跡整備した津島遺跡（岡山市）と遺跡&スポーツミュージアムでの校外学習を受入れ、弥生時代の暮らしを中心に説明を行い、歴史学習の一助とした。令和6年度は10校、計580人を受け入れた。なお、説明にはミュージアムスタッフ、津島遺跡ボランティアの援助を得た。

番号	見学日	学校名	人数
1	令和6年4月25日(木)	岡山市立鹿田小学校	141名
2	令和6年5月29日(水)	吉備中央町立大和小学校	16名
3	令和6年6月6日(木)	岡山市立伊島小学校	146名
4	令和6年6月21日(金)	玉野市立宇野小学校	39名
5	令和6年6月25日(火)	岡山市立甲浦小学校	39名
6	令和6年7月2日(火)	岡山市立御野小学校	104名
7	令和6年11月1日(金)	真庭市立富原小学校	29名
8	令和6年11月1日(金)	総社市立総社東中学校	42名
9	令和6年11月20日(水)	岡山市立伊島小学校	19名
10	令和6年12月5日(木)	岡山市立岡山後楽館中学校	5名



小学校見学（センター）の様子



小学校見学（津島遺跡）の様子

(3) 職場体験・出前授業等

センターでの進路学習・職場体験等への対応、学校への出前授業を行った。令和6年度は22校393名の児童・生徒・大学生を対象とした。

番号	期 間	内 容	学校種	学校名	人数	場 所
1	令和6年5月8日(水)	出前授業	大学	岡山大学文学部	12名	大学
2	令和6年5月11日(土)、 6月8日(土)、6月22日(土)、 7月13日(土)、7月14日(日)	ジュニア 解説員 展示解説	中学校・ 高等学校	県立瀬戸高等学校、県立岡山芳泉高等学校、岡山大学教育学部附属中学校、 県立倉敷天城中学校、 県立玉野光南高等学校、 岡山中学校	7名	センター 県立博物館
3	令和6年7月25日(木)	職場体験	高等学校	県立倉敷青陵高等学校	11名	センター
4	令和6年10月10日(木)	職場見学	大学	岡山大学考古学研究室	5名	調査現場(総社市)
5	令和6年10月10日(木)	職場見学	大学	岡山大学考古学研究室	5名	調査現場(倉敷市)
6	令和6年10月19日(土)	出前授業	中学校	岡山市立中山中学校 (ふれあいサタデー)	25名	学校
7	令和6年10月21日(月)	出前授業	高等学校	県立岡山工業高等学校	16名	学校
8	令和6年10月23日(水) ～24日(木)	職場体験	中学校	岡山市立御南中学校	2名	センター 調査現場(総社市)
9	令和6年10月23日(水) ～25日(金)	職場体験	中学校	岡山市立京山中学校	2名	センター 調査現場(総社市) 津島遺跡
10	令和6年10月25日(金)	職場体験	高等学校	県立津山東高等学校	2名	調査現場(津山市)
11	令和6年11月6日(水) ～8日(金)	職場体験	中学校	岡山市立吉備中学校	2名	センター 津島遺跡
12	令和6年11月6日(水) ～8日(金)	職場体験	中学校	岡山市立中山中学校	2名	センター 津島遺跡
13	令和6年11月12日(火) ～14日(木)	職場体験	中学校	岡山市立高松中学校	2名	センター 調査現場(倉敷市) 津島遺跡
14	令和6年11月22日(金)	出前授業	高等学校	県立鴨方高等学校	16名	学校
15	令和6年12月18日(水)	出前授業	高等学校	県立総社南高等学校	43名	学校
16	令和7年1月14日(火)	出前授業	高等学校	県立倉敷古城池高等学校	13名	学校
17	令和7年3月14日(金)	出前授業	高等学校	県立備前緑陽高等学校	228名	学校

学校利用によるセンター施設・発掘調査現場見学、津島遺跡見学、センターでの進路学習・職場体験、学校への出前授業の令和6年度の総計は、41校、1,726人であった。

第6節 市町村支援事業

埋蔵文化財専門職員が配置されていない県下市町村が実施する発掘調査や報告書作成などに対して、職員を派遣する等の支援を行った

(1) 町道泉・田ヶ原線新築に伴う発掘調査・報告書作成

市町村名：和気郡和気町

遺跡名：藤野遺跡

所在地：和気郡和気町藤野486-2ほか

調査期間：令和6年12月2日

担当者：米田克彦・松尾佳子

内容：出土遺物整理作業の確認

第7節 専門職員研修等

埋蔵文化財専門職員の資質向上のため、所内研修及び市町村職員を含む埋蔵文化財担当職員研修会を開催した。また、岡山県教育委員会主催埋蔵文化財保護行政基礎講座、奈良文化財研究所文化財担当者研修及び全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会を受講した。

(1) 所内研修

日	内容	講師
令和6年9月30日（月）	第1回発掘調査状況報告	各調査担当者
令和7年2月28日（金）	第2回発掘調査状況報告	各調査担当者

(2) 埋蔵文化財担当職員研修会

日時	内容・講師	参加者数
令和7年1月17日（金） 13:00～16:50	講演：「ジェンダー考古学ー研究の最前線と展示の課題ー」 岡山大学文明動態学研究所 松本直子 講演：「高松市の文化財行政と保存活用の取り組みについて」 高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部文化財課 山元敏裕	47名



松本直子氏の講演



山元敏裕氏の講演

(3) 埋蔵文化財保護行政基礎講座（岡山県版）受講

日 時	場 所	受 講 者
令和6年9月20日（金） 13：30～16：00	①サンロード吉備路 会議室 ②史跡備中国分尼寺跡 現地	所 長 奥山修司 次 長 柴田英樹 総 務 課 大藤 淳 調査第一課 小林利晴 米田克彦 和田 剛 杉浦香菜子 松尾佳子 藤井雅大 平野友梨 調査第二課 藤井雄一 西村 奏 河野唯花 渡邊 響 出相亜紗美 調査第三課 石田為成

(4) 奈良文化財研究所文化財担当者研修受講

期 間	内 容	受 講 者
令和6年9月30日（月）～10月4日（金）	遺跡調査技術課程	調査第一課 杉浦香菜子
令和6年11月18日（月）～11月29日（金）	文化財写真課程	調査第一課 平野友梨
令和6年12月2日（月）～12月6日（金）	報告書編集基礎課程	調査第二課 藤井雄一

(5) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会受講

期 間	場 所	受 講 者
令和6年10月17日（木）・18日（金）	須玉ふれあい館（山梨県北杜市）	調査第二課 西村 奏

第8節 調査指導会等

(1) 埋蔵文化財保護調査指導会

発掘調査及び報告書作成を適切かつ円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、大学教官等県内の有識者に委員を依頼し、埋蔵文化財調査指導会を設け、指導助言を得た。令和6年度は3事業において開催した。なお、本指導会は文化財課が主催した。

1 一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委 員：亀田修一（岡山理科大学）

澤田秀実（くらしき作陽大学）

清家 章（岡山大学）

仁木康治（津山市）

三阪一徳（岡山理科大学）

開 催 日：令和6年10月9日（水）

令和7年2月19日（水）

協議事項：発掘調査状況、報告書作成状況、
確認調査状況



調査指導会（一般国道53号）

2 高梁川河川整備事業に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委 員：稲田孝司（元岡山大学）
出宮徳尚（元岡山市教育委員会）
野崎貴博（岡山大学文明動態学研究所）
伴 祐子（倉敷考古館）
福本 明（岡山商科大学）

開 催 日：令和6年11月25日（月）
令和7年2月25日（火）

協議事項：発掘調査状況、報告書作成状況



調査指導会（高梁川）

3 一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う埋蔵文化財保護調査指導会

委 員：白石 純（岡山理科大学）、平岡正宏（津山市）、湊 哲夫（元津山郷土博物館）、
山本悦世（元岡山大学）、行田裕美（元津山市教育委員会）

開 催 日：令和6年9月9日（月）

協議事項：報告書作成状況、確認調査状況

（2）埋蔵文化財専門委員による現地指導

発掘調査等を円滑に進めるとともに、その成果・内容についての客観性を確保するため、文化財課が有識者に委員を依頼し、指導助言を得た。

委 員：亀田修一（岡山理科大学）、山本悦世（元岡山大学）

指 導 日：令和6年9月17日（火）

指導事項：中津遺跡の調査状況

（3）史跡備中国分尼寺跡ほか調査指導会

「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、史跡備中国分尼寺跡ほかの発掘調査、総合調査報告書作成を適切かつ円滑に進めるため、有識者に委員を依頼し、指導助言を得た。

委 員：亀田修一（岡山理科大学）
上原真人（元京都大学）
今津勝紀（岡山大学）
海野 聡（東京大学）

オブザーバー：浅野啓介（文化庁）
芝康次郎（文化庁）
河合 忍（県文化財課）

開 催 日：令和6年7月22日（月）
令和6年10月1日（火）
令和7年1月29日（水）



調査指導会（史跡備中国分尼寺跡ほか）

第9節 古代歴史文化に関する共同調査研究事業

古代歴史文化にゆかりの深い県が互いに連携し、各県が集積してきた考古学及び古代史の研究成果を基礎に共同調査研究することによって、個々地域的な研究だけでは見えにくかった日本古代史の大きな流れを解明することを狙いとし、14県が平成26年11月に古代歴史文化協議会を設立した。令和6年度は、第3期（令和5・6年度）として「古墳時代の中央と地域」をテーマに共同調査研究を進めた。

1 構成県

埼玉県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・佐賀県・宮崎県

2 共同調査研究集会

第18回研究集会

開催日：令和6年8月6日（火）・7日（水）

開催地：鳥取県鳥取市

3 第7回古代歴史文化講演会「古墳時代の王権と地域」

開催日：令和6年12月8日（日）

会 場：明治大学アカデミーホール（東京都千代田区）

主 催：古代歴史文化協議会

共 催：明治大学国際日本古代学研究クラスター

内 容：基調講演：「古墳時代の東国と倭王権」

若狭 徹（明治大学文学部教授）

各県報告：埼玉県、奈良県、和歌山県、鳥取県、
島根県、岡山県（藤井雅大）、佐賀県、
宮崎県の各県の担当者

入場者数：868名

* 令和7年3月6日からオンライン配信



岡山県の動画タイトル画面

第10節 労働安全衛生

（1）安全衛生委員会

発掘調査現場や施設内での各種作業等における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的にセンター内に安全衛生委員会を設置し、年間12回の安全衛生委員会を開催した。

1 委員会の構成と重点目標

委員長（総括安全衛生管理者）、副委員長（総括安全衛生管理者職務代理者）、産業医、
安全管理者、衛生管理者、その他委員 計20名

重点目標：『労災ゼロ』

標 語：『掘る前に 危険予知と安全確認！』

2 安全衛生研修

第1回 令和6年4月30日（火）DVD視聴「職場のコミュニケーションスキル
～アサーション 上手な気持ちの伝え方～」

第2回 令和6年6月28日（金） 産業医による安全衛生に関する講話「夏季作業熱中における注意について」

第3回 令和6年11月1日（金） 日本赤十字社岡山支部職員による「『高齢者に起こりやすい病気や事故の予防』について」

第4回 令和6年11月29日（金） 「健康教室」～ストレス解消法を学ぼう！～

3 各現場研修

調査現場及び整理作業におけるヒヤリハット運動とその報告

4 安全衛生管理状況現場巡視

職員相互による巡視を行い、調査現場の安全衛生管理状況について確認した。巡視結果と改善点については、安全衛生委員会で報告し、情報共有を図った。

回数	期 日	調査現場遺跡	重点項目
第1回	令和6年5月16日（木）	向山遺跡	風雨対策 現場通路の安全対策
第2回	令和6年6月21日（金）	福田湯田遺跡	暑さ対策 現場通路の安全対策
第3回	令和6年7月4日（木）	園井土井遺跡	暑さ対策 現場通路の安全対策
第4回	令和6年10月3日（木）	至孝農遺跡	火災予防 現場通路の安全対策
第5回	令和7年1月23日（木）	酒津遺跡	降雪・霜対策 現場通路の安全対策

（2）各種資格取得・受講

安全管理者選任時研修受講：大藤総務課長、小林調査第一課長、金田調査第三課長

玉掛け技能講習：山口主事

地山の掘削等及び土止め支保工の組立て等作業主任者技能講習：四田主事、山口主事、西村主事

職長教育：松尾総括副参事

自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育：四田主事、西村主事

甲種防火管理新規講習：大藤総務課長

低圧電気取扱業務に係る特別教育：氏平総括副参事

特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会：大藤総務課長、絹輪副参事

第11節 施設等の修繕

令和6年度に実施した施設等の修繕は、次のとおりである。

番号	場 所	内 容
1	敷地内	高圧気中開閉器取替修繕
2	本館2階洗浄室・調査員室	ブラインド修繕
3	三手収蔵庫	蛍光灯撤去
4	本館1階・受付電話	電話配線修繕
5	本館2階・休憩室電話	電話配線修繕
6	三手収蔵庫	屋根雨漏り改修
7	三手収蔵庫	防犯センサー等再設置
8	本館2階調査員室・新収蔵庫	不点照明取替修繕

第12節 文化財保護法に基づく提出書類

(1) 史跡の現状変更許可申請 (法第125条)

番号	申請文書番号 日付	史跡名	所在地	目的	申請者	期間	指示の内容	許可文書番号
1	教文理第692号 令和5年7月25日	史跡備中国分尼寺跡	総社市上林 1194-1ほか	発掘調査	岡山県教育委員 会教育長	許可日～ 令和6年3月31日	実施に当たっては、岡山県 文化財担当部局の指導を受け ること。	5文庁第1892号 令和5年7月21日
2	教文理第851号 令和4年8月30日	史跡津島遺跡	岡山市北区いづ み町1-1	津島遺跡やよ いまつりのた めテントを設 置	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	令和5年10月20日～ 10月23日	施工に際しては、岡山市文 化財担当部局の指導を受け ること。	岡山市教育委員会 指令文第679-1号 令和5年9月6日

(2) 埋蔵文化財試掘確認調査の報告 (法第99条)

番号	文書番号日付	周知／ 未周知	遺跡名称 時代 種類	所在地	面積 (㎡)	原因事業	包蔵地 有無	報告者	担当者	調査期間
1	岡吉調第61号 令和6年7月4日	周知	福田湯田遺跡 古墳・中世 集落跡	津山市福田73-4ほか	84	一般国道53号(津 山南道路)改築工事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	杉浦香菜子 高田恭一郎	令和6年5月20日 ～6月5日
2	岡吉調第69号 令和6年7月18日	周知	滝谷川遺跡 弥生～中世 集落跡	久米郡美咲町飯岡 267-2ほか	196	一般国道374号(美 作岡山道路)改築工 事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	杉浦香菜子 米田克彦	令和6年6月4日 ～6月14日
3	岡吉調第71号 令和6年7月31日	周知	位田遺跡 弥生～中世 集落跡	新見市唐2034-1、2011- 1	20	県道長屋賀陽線拡幅 工事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	杉浦香菜子 小林利晴	令和6年6月24日 ～6月27日
4	岡吉調第143号 令和7年1月29日	周知	高尾上ノ畑遺 跡 奈良～中世 集落跡	津山市高尾1178-5ほか	116	一般国道53号(津 山南道路)改築工事	有	岡山県古代吉備 文化財センター 所長	杉浦香菜子 和田 剛 米田克彦	令和6年12月16日 ～令和7年1月14日

(3) 埋蔵文化財発掘調査の報告 (法第99条)

番号	文書番号 日付	遺跡名称 時代・種類	所在地	面積 (㎡)	原因事業	報告者	担当者	期間
1	岡吉調第4号 令和6年4月10日	向山遺跡 弥生～中世 集落跡	瀬戸内市長船町 飯井2184-3	400	広域河川改修事業(千田川)	岡山県古代吉備文化財 センター所長	氏平昭則 河野唯花	令和6年4月15日～ 6月30日
2	岡吉調第6号 令和6年4月10日	高尾宮ノ前遺跡 弥生～中世 集落跡・古墳	津山市高尾1282 番地ほか	585	一般国道53号(津山南道路) 改築工事	岡山県古代吉備文化財 センター所長	團 奈歩 弘田和司 渡邊 響	令和6年4月10日～ 5月31日
3	岡吉調第7号 令和6年4月8日	酒津遺跡 弥生～中世 集落跡	倉敷市酒津地先	610	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財 センター所長	物部茂樹 四田寛人 山口香織 森本 蓮	令和6年4月8日～ 5月31日
4	岡吉調第23号 令和6年5月1日	園井土井遺跡 中世・近世 集落跡	笠岡市園井 585-1ほか	1,420	県道園井里庄線地方道路改築	岡山県古代吉備文化財 センター所長	四田寛人 弘田和司 竹田千紘	令和6年5月1日～ 9月30日
5	岡吉調第29号 令和6年5月22日	福田湯田遺跡 古墳・中世 集落跡	津山市福田76番 地ほか	3,000	一般国道53号(津山南道路) 改築工事	岡山県古代吉備文化財 センター所長	團 奈歩 渡邊 響	令和6年5月22日～ 令和7年3月31日
6	岡吉調第50号 令和6年6月3日	中津遺跡 中世 集落跡	倉敷市玉島黒崎 573-2ほか	1,200	水島港唐船線改築工事	岡山県古代吉備文化財 センター所長	山口香織 高田恭一郎 森本 蓮	令和6年6月3日～ 10月31日
7	岡吉調第51号 令和6年7月1日	至孝農遺跡 近世 製鉄遺跡	苫田郡鏡野町至 孝農218-3ほか、 220-1	1,170	通常砂防事業(カナザコ川)	岡山県古代吉備文化財 センター所長	氏平昭則 西村 奏 河野唯花	令和6年7月1日～ 10月31日

第3章 事業の概要

番号	文書番号 日付	遺跡名称 時代・種類	所在地	面積 (㎡)	原因事業	報告者	担当者	期間
8	岡吉調第107号 令和6年10月22日	酒津遺跡	倉敷市酒津地先	1,125	高梁川河川整備事業	岡山県古代吉備文化財センター所長	物部茂樹 石田為成 山口香織 高田恭一郎 四田寛人 西村 奏 河野唯花 竹田千紵 森本 蓮	令和6年10月22日～ 令和7年3月31日

(4) 埋蔵文化財発見の通知（法第100条第2項）

番号	文書番号 日付	物件名	出土地 遺跡名称	出土年月日	発見者	土地所有者	現保管場所	発見の理由
1	岡吉調第41号 令和6年6月5日	土師器・須恵器・備前焼・鉄滓ほか 計整理箱1箱	津山市福田 73-4 ほか 福田湯田遺跡	令和6年5月20日～ 6月5日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査
2	岡吉調第35号 令和6年5月31日	弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・石製品・金属製品 計整理箱20箱	倉敷市酒津地先 酒津遺跡	令和6年4月8日～ 5月31日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	高梁川河川整備事業に伴う発掘調査
3	岡吉調第46号 令和6年6月14日	弥生土器・土師器・須恵器・鉄製品・鉄滓ほか 計整理箱1箱	久米郡美咲町飯岡 267-2 ほか 滝谷川遺跡	令和6年6月4日～ 6月14日	岡山県教育委員会 教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査
4	岡吉調第49号 令和6年6月20日	弥生土器・土師器・須恵器・備前焼・管玉・サヌカイト剥片・鉄鐵ほか 計整理箱19箱	瀬戸内市長船町 飯井 2184-3 向山遺跡	令和6年4月15日～ 6月20日	岡山県教育委員会 教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	広域河川改修事業（千田川）に伴う発掘調査
5	岡吉調第47号 令和6年6月19日	弥生土器・土師器・須恵器・釘・銅銭・鉄滓ほか 計整理箱3箱	津山市高尾 1282 高尾宮ノ前遺跡	令和6年4月10日～ 6月19日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査
6	岡吉調第52号 令和6年6月27日	弥生土器・土師器・須恵器・土鍾・鉄滓 計整理箱1箱	新見市唐松 2034-1 位田遺跡	令和6年6月24日～ 6月27日	岡山県教育委員会 教育長	個人	岡山県古代吉備文化財センター	県道長屋賀陽線拡幅工事に伴う確認調査
7	岡吉調第102号 令和6年9月30日	土師器・須恵器・陶磁器・石器・鉄器・銅銭ほか 計整理箱20箱	笠岡市園井 585-1 ほか 園井土井遺跡	令和6年5月1日～ 9月30日	岡山県教育委員会 教育長	岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	県道園井里庄線地方道路改築に伴う発掘調査
8	岡吉調第115号 令和6年10月31日	陶磁器・古銭・鉄滓ほか 計整理箱63箱	苫田郡鏡野町 至孝農 218-3 ほか、 220-1 至孝農遺跡	令和6年7月1日～ 10月31日	岡山県教育委員会 教育長	個人 岡山県	岡山県古代吉備文化財センター	通常砂防事業（カナザコ川）に伴う発掘調査
9	岡吉調第112号 令和6年10月31日	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石器・金属器・獣骨・貝ほか 計整理箱60箱	倉敷市玉島黒崎 718-1 ほか 中津遺跡	令和6年6月1日～ 10月31日	岡山県教育委員会 教育長	個人	岡山県古代吉備文化財センター	水島港唐船線改築工事に伴う発掘調査
10	岡吉調第114号 令和6年10月31日	瓦・土師器・須恵器・黒色土器・緑釉陶器・金属製品・壁土・鉄滓ほか 計整理箱258箱	総社市上林 1194-1 番地ほか 史跡備中国分尼寺跡	令和6年6月3日～ 10月31日	岡山県教育委員会 教育長	文部科学省	岡山県古代吉備文化財センター	「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業に伴う発掘調査
11	岡吉調第137号 令和7年1月10日	土師器・須恵器・勝間田焼・鉄製品・鉄滓ほか 計整理箱1箱	津山市高尾 1178-5 ほか 高尾上ノ畑遺跡	令和6年12月16日～ 令和7年1月14日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査
12	岡吉調第165号 令和7年3月14日	弥生土器・土師器・須恵器・勝間田焼・石器・石製品・金属製品・鉄滓ほか 計整理箱40箱	津山市福田 76 番地ほか 福田湯田遺跡	令和6年5月22日～ 令和7年3月14日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う発掘調査
13	岡吉調第167号 令和7年3月14日	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・石製品・金属製品・鉄滓・獣骨ほか 計整理箱102箱	倉敷市酒津地先 酒津遺跡	令和6年10月22日～ 令和7年3月14日	岡山県教育委員会 教育長	国土交通省	岡山県古代吉備文化財センター	高梁川河川整備事業に伴う発掘調査

第4章 調査の概要

第1節 試掘確認調査概要

(1) 一般国道53号（津山南道路）改築工事に伴う確認調査

ふくだ ゆだ
福田湯田遺跡

所在地：津山市福田73-4ほか

調査期間：令和6年5月20日～6月5日

担当者：杉浦香菜子・高田恭一郎

調査面積：84㎡

調査の経過

調査地は皿川東岸に位置する。調査対象範囲は令和5年度の試掘調査地点及び令和6年度の発掘調査区の東側にあたる。トレンチはT4～T8の5本を設定した。

調査の概要

T4は、現代水田層下で近現代水田層を確認した。その直下で検出した砂礫層は河川作用によるものと考えられるが、その堆積時期は不明である。

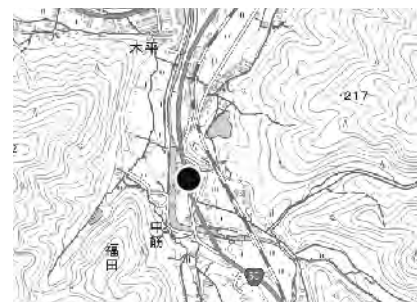
T5～T7は、いずれも現代水田層直下で河川作用由来の砂礫層を検出した。出土遺物等はなく、その堆積時期は不明である。

T8は、現代水田層下30～40cmで河川作用由来の砂礫層を検出した。遺物は砂礫層上面の窪みに堆積した層から、須恵器と土師器の破片や鉄滓等が少量出土した。このことから、砂礫層は古墳時代以前の堆積と考えられる。

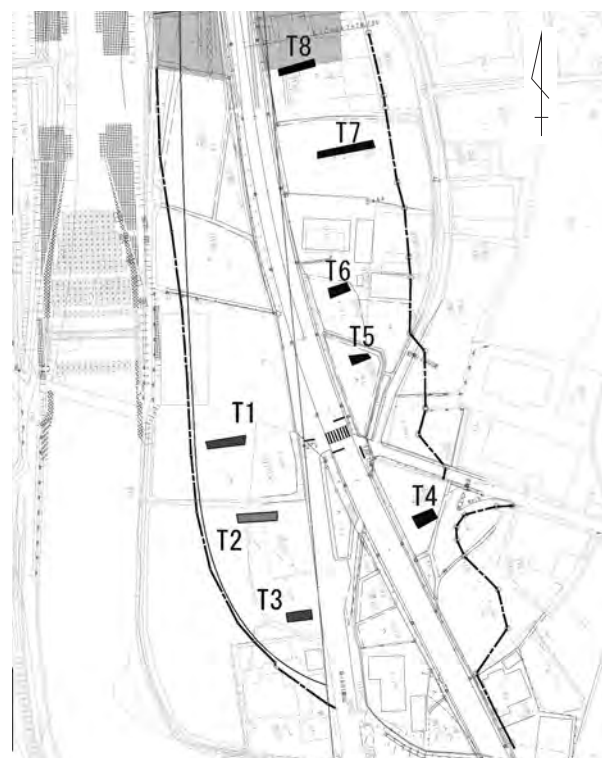
(杉浦)



T8（南西から）



調査位置図（1/25,000）



灰色：令和5年度調査トレンチ（T1～T3）

黒塗り：令和6年度調査トレンチ（T4～T8）

トレンチ配置図（1/2,000）

たか おうえ の はた
高尾上ノ畑遺跡

所在地：津山市高尾1178-5ほか

調査期間：令和6年12月16日～令和7年1月14日

担当者：杉浦香菜子・和田 剛・米田克彦

調査面積：116㎡

調査の経過

高尾上ノ畑遺跡は嵯峨山から南東に派生した丘陵斜面に立地する。調査範囲は東側が丘陵尾根上、西側が東向きの斜面にあたる。確認調査ではT1～T5の5本のトレンチを設定した。

調査の概要

T1は表土下20cmまで流土が堆積しており、その直下で地山を確認した。トレンチの南側では段状遺構状を呈する明褐色土の広がりを確認しており、時期は中世と推測される。また、トレンチ南端では地山付近で勝間田焼が出土した。

T2は全体的に表土下30cmまで流土が堆積し、その直下で地山を確認した。本トレンチでは段状遺構6面、ピット6個を確認した。段状遺構からは須恵器や鉄釘、鉄滓（鍛冶滓）等が出土した。これらの遺構の時期は古代～中世と考えられる。

T3は溝2条、ピット1個、古代の遺物包含層を確認した。トレンチ北西側では後世の削平が著しく、表土直下で地山が認められた。トレンチの中央から南東にかけて溝2条を確認し、埋土からこれらは中世以降の耕作溝とみられる。ピットの時期は古代～中世と推測される。

T4は表土下30cmまで流土、その下で炭化物をわずかに含むにぶい黄褐色土が厚さ20cmほど堆積しているのを確認した。遺構としてはピットを4個確認した。ピットからは土師器、須恵器が出土し、時期は古代と考えられる。トレンチ東側では土師器、須恵器、鉄製品を含む奈良時代後半の包含層が厚く堆積していた。トレンチ西端では表土下60cm、東端では表土下1.2mの深さで地山を確認した。

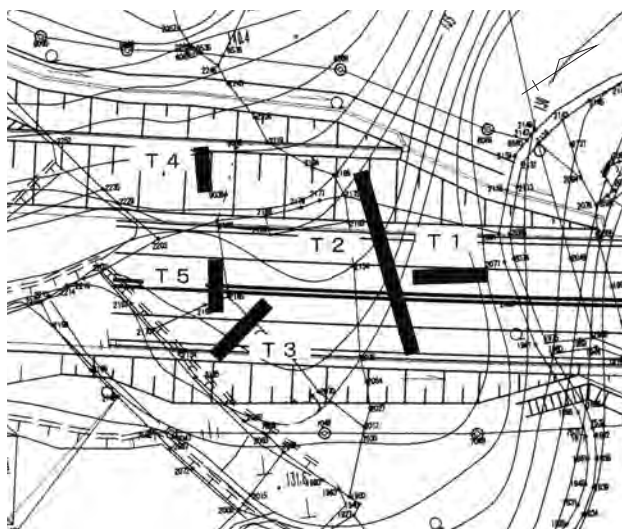
T5は段状遺構1面、土坑1基、溝1条、ピット1個及び古代の遺物包含層を確認した。全体に表土下30cmまで流土が堆積しており、その下で土師器、須恵器を含む古代包含層の堆積を確認した。トレンチ西端の地山直上では段状遺構と溝を1条確認した。トレンチ東端では地山直上で土坑1基とピット1個を確認した。このうち土坑1基は深さが60cm以上あり、時期は出土した土師器から古代と考えられる。

これらから、調査地周辺には古代～中世の集落が広がっているとみられる。

(杉浦)



調査位置図 (1/25,000)



トレンチ配置図 (1/1,000)

(2) 一般国道374号（美作岡山道路）改築工事に伴う確認調査

ただにがわ

滝谷川遺跡

所在地：久米郡美咲町飯岡267-2ほか

調査期間：令和6年6月4日～6月14日

担当者：杉浦香菜子・米田克彦

調査面積：196㎡

調査の経過

滝谷川遺跡は吉井川と吉野川が合流するところの北側の扇状地に立地する。調査地周辺は扇央に近く、南北方向に幾筋の浅い谷部がある。調査対象範囲は東がやや高く、西へ緩やかに下がる地形である。トレンチは令和5年度の確認調査範囲の西側にT6～T10の5本を設定した。



調査位置図 (1/25,000)

調査の概要

T6は造成土が表土下に厚く堆積しており、弥生土器や土師器の細片がわずかに出土した。地山はトレンチ東端のみで確認でき、西側に向かって徐々に下がると推測される。遺構や遺物包含層は確認できなかった。

T7は土師器の細片をわずかに含む造成土が厚く堆積しており、遺構や遺物包含層は確認できなかった。

T8はトレンチの中央から西側にかけて中世の瓦質土器をわずかに含むにぶい黄褐色シルト層を、その直下からは古墳時代～古代にかけての土師器、須恵器の杯・甕、管状土錘、鉄釘等を含む黒褐色シルト層を確認した。

T9は土師器や須恵器の破片を含む遺物包含層を2層確認し、その直下で地山を確認した。

T10は弥生土器、土師器、須恵器を比較的多く含む弥生時代後期～古代の遺物包含層を確認した。

令和5年度に実施した確認調査ではT3で弥生時代のピットや弥生土器、T5は中世以前の流路やピット、弥生土器や中世の遺物が見つかった。

その結果を踏まえると、T3・5・8・10の周辺に弥生時代から中世の集落跡が広がっていると考えられる。

(杉浦)



灰色：令和5年度調査トレンチ (T1～T5)

黒塗り：令和6年度調査トレンチ (T6～T10)

トレンチ配置図 (1/2,000)

(3) 県道長屋賀陽線拡幅工事に伴う確認調査

位田遺跡

所在地：新見市唐松 2011-1、2034-1 ほか

調査期間：令和6年6月24日～6月27日

担当者：杉浦香菜子・小林利晴

調査面積：20㎡

調査の経過

調査地は、小阪部川右岸の河岸段丘上に立地する。調査地周辺には金谷塚古墳、塚ノ本古墳、鬼山古墳、鬼山城跡などが点在する。調査地は田畑で、小阪部川に向かって東から西へ緩やかに下がる地形となっている。トレンチは、T1～T3の3本を設定した。



調査位置図 (1/25,000)

調査の概要

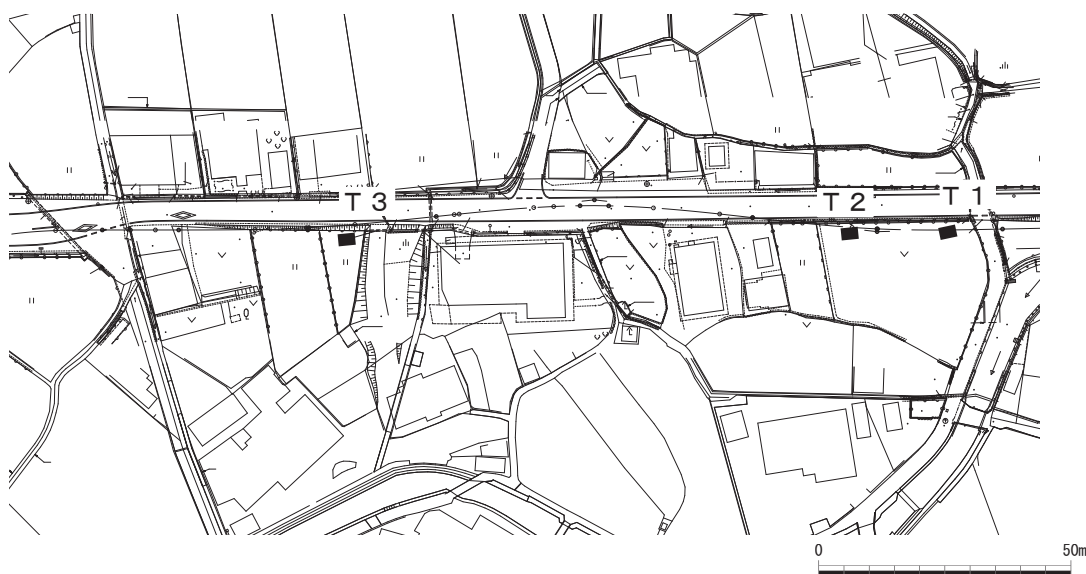
T1では、表土直下で遺物包含層を、地山上面でピットを確認した。遺物包含層の厚さは20cm程度で、主に古墳時代後期と平安時代・中世の遺物が出土した。遺物包含層の直下は灰黄褐色の基盤層で、ピットを確認した。

T2では、表土・水田床土の下で遺物包含層を確認した。遺物包含層の厚さは50cmほどあり、古墳時代後期を中心とした遺物が出土した。しかしその直下は砂質土が続き、安定しない地盤であった。このことから、この地点ではT1から西側へ下るが、斜面部あるいは谷部に遺物が堆積した可能性がある。

T3は周辺より約4m低い地形となる。表土・水田層の下から40cmまで砂質土の堆積が認められる。遺構・遺物は確認できず、この地点よりさらに西側にある小阪部川の氾濫原であった可能性が考えられる。

以上のことから、T1・2周辺には古墳時代後期～中世の集落跡が広がっていると考えられる。

(杉浦)



トレンチ配置図 (1/1,500)

第2節 発掘調査概要

(1) 高梁川河川整備事業に伴う発掘調査

酒津遺跡

所在地：倉敷市酒津地先 調査期間：令和6年4月1日～5月31日、10月1日～令和7年3月31日

担当者：物部茂樹（4・5・10月～）・石田爲成（10月～）・山口香織（4・5・11月～）・

高田恭一郎（11月～）・四田寛人（4・11月～）・西村 奏（11月～）・河野唯花（11月～）・

竹田千紘（10月～）・森本 蓮（4・5・11月～）

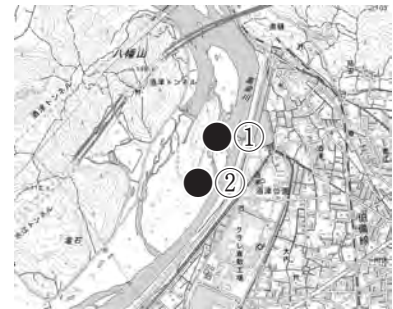
調査面積：675㎡（R6-1・2区：150㎡、3・4区：260㎡、
5区：130㎡、6区：135㎡）

調査の経過

酒津遺跡は、高梁川の河川敷に所在する縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。令和6年4・5月は笠井堰から南約300mの妙見山東側に隣接する地点に設定したR6-1・2区の2か所の調査を、10月から令和7年3月までは笠井堰南側の中州北端に位置する3・4・5・6区の調査を行った。

調査の概要

R6-1・2区では、中世の柱穴が検出されたことから、この



①：3・4・5・6区、②：R6-1・2区
調査位置図（1/50,000）



調査地遠景（北東上空から）



R6-2区全景（西から）



3・4・5・6区全景（西上空から）



縄文時代の土坑（北東から）

時期の集落が妙見山の東側裾まで広がっていることが分かった。また、両調査区の間、室町時代には埋没する旧河道が存在する可能性が高い。

3～6区では縄文時代から鎌倉時代の遺構を確認した。縄文時代の遺構としては、調査区北端で土坑4基を確認した。この周辺に板状有溝砥石や石鏃などの石器や多数のサヌカイト剥片・碎片が出土する範囲が広がっており、縄文時代草創期に形成された層と考えられる。弥生時代の遺構としては、土坑2基、溝16条を確認した。

古墳時代の遺構としては、調査区中央と北東端で各1条、円形に巡る溝を確認しており、古墳の周溝と考えられる。周溝の埋土中からは、古墳時代中期末頃の埴輪片が出土した。調査区中央の古墳の規模は径約13mで、周溝を含めた全長は約17mになる。北東端の古墳は東半を流失しているものの、ほぼ同規模と考えられる。古墳時代後期以降では、竪穴住居2軒、炉2基、被熱土坑1基、被熱面8か所、溝3条、たわみ2か所を確認した。調査区中央のたわみについては、古墳周溝が埋没した後の窪地状の地形に、土師器、須恵器、製塩土器、羽口、鉄滓などが廃棄されたものである。

奈良時代の遺構としては、調査区中央で直線的に伸びる幅約7m、深さ約2mの溝を確認した。この溝は、令和4・5年度に調査を実施した1・3区でも確認されており、全体として約40m以上の長さになることが分かった。この他に古代の遺構として、土坑1基、溝1条、たわみ1か所を確認した。

鎌倉時代以降では、掘立柱建物2棟、土坑1基、水田1か所を検出した。掘立柱建物はいずれも令和4年度に調査を実施した2区で確認した建物の一部である。

今年度の調査成果の中で特筆されるのは、弥生時代中期と考えられていた酒津遺跡の成立が縄文時代草創期まで遡ることを確認できた点、新たに2基の古墳が発見された点である。(山口・西村・竹田)



調査区中央の古墳周溝（南から）



古墳時代後期の竪穴住居（北東から）



古墳時代後期以降の被熱土坑（北東から）



奈良時代の溝（南東上空から）

(2) 一般国道53号(津山南道路)改築工事に伴う発掘調査

高尾宮ノ前遺跡 福田湯田遺跡

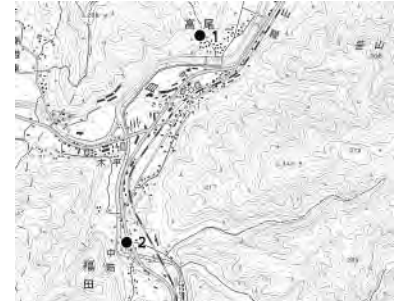
所在地：津山市高尾1282、福田76番地ほか 調査期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

担当者：團 奈歩・弘田和司(4月)・渡邊 響・出相亜紗美(6月～) 調査面積：3,585㎡

調査の経過

高尾宮ノ前遺跡では、昨年度に引き続き、4月から発掘調査を開始した。調査対象地は、昨年度調査区(4区)の北東部にあたる5区である。調査面積は585㎡で、6月19日に終了した。

福田湯田遺跡では、高尾宮ノ前遺跡の調査と並行して、5月22日から発掘調査を開始した。これは令和5年度に実施した確認調査で、古墳時代後期の包含層から当該期の集落の存在が示唆されたためである。調査区内には宅地造成に伴って設置された撤去が必要なコンクリート擁壁があったことから、これを境として北から順に1～3区と3つの調査区を設定した。調査面積は、1区600㎡、2区1,500㎡、3区900㎡の計3,000㎡である。北側の1区から調査を開始したが、条件整備等の関係から3区、2区の順で作業を進め、3月31日に終了した。



1. 高尾宮ノ前遺跡

2. 福田湯田遺跡

調査位置図 (1/50,000)

調査の概要

高尾宮ノ前遺跡の5区は、遺跡の北端東斜面にあたり、表土直下に硬い岩盤層が広がる。斜面中段では、弥生時代の土坑、古墳時代後期以前の段状遺構、近現代の溝を確認した。また斜面上段では、中世の土坑を複数確認し、うち1基は石組みが施され、炭化物や鉄釘が出土した。なお遺物として弥生時代から古墳時代の土器のほか、瓦、金属製品、銭貨などが認められた。5区は全体的に急傾斜地だが、中世段階ではある程度の利用が見られた。

福田湯田遺跡は、皿川の西側丘陵から平野部にかけて所在しており、調査対象地は川の東側、平野部に位置している。今年度の調査では、調査地全面で古墳時代から古代にかけての皿川の旧流路を検出し、これらが埋没した後の中世段階になって集落が展開することが判明した。

この旧流路を14条確認したが、流れの方向や層序関係から、古墳時代後期以前・以降と、古代の大きく3つの時期の変遷を捉えることができる。このうち古墳時代後期のものからは、川岸付近で完形、もしくは完形に復する土器の出土を22か所で確認し、使用痕跡があまり見られないことなどから水辺における祭祀に用いられた可能性がある。その他の出土遺物として、縄文時代のものと考えられる石鏃や、弥生時代中・後期の土器などもあり、周辺により古い時期の遺構の存在が想定される。

旧流路の上段では、一部で12世紀代の土器を包含する層の広がりが見られ、これを基盤とする中世の遺構を確認した。この時期の遺構は掘立柱建物5棟のほか、溝や土坑など少数であるが、出土遺物や埋土の状況から中世の前期と



高尾宮ノ前遺跡 石組みの土坑 (南東から)

第4章 調査の概要

後期に属するものがあると考えられる。このことから調査対象地は中世集落として一定期間機能していたと推測され、その時期の皿川の流路は調査区外にあったことが知れる。

調査地の基盤は砂礫層を主体とする河川堆積であるため、近世以前に水田として利用された形跡は見られない。しかし、近代以降に黄色を呈する粘質土を床土にして造成することで、一帯が水田化する。この水田は洪水砂によって覆われているが、その上面で再び水田が営まれる様子が観察できる。その後も二度にわたり洪水被害を受けるが、その都度造成を行って復旧している。また平成10年の洪水被害により、宅地であった部分は1 m以上の嵩上げが行われている。こうした近・現代の皿川の洪水被害とその後の復旧作業について、土層断面から窺い知ることができる。

(團・渡邊)



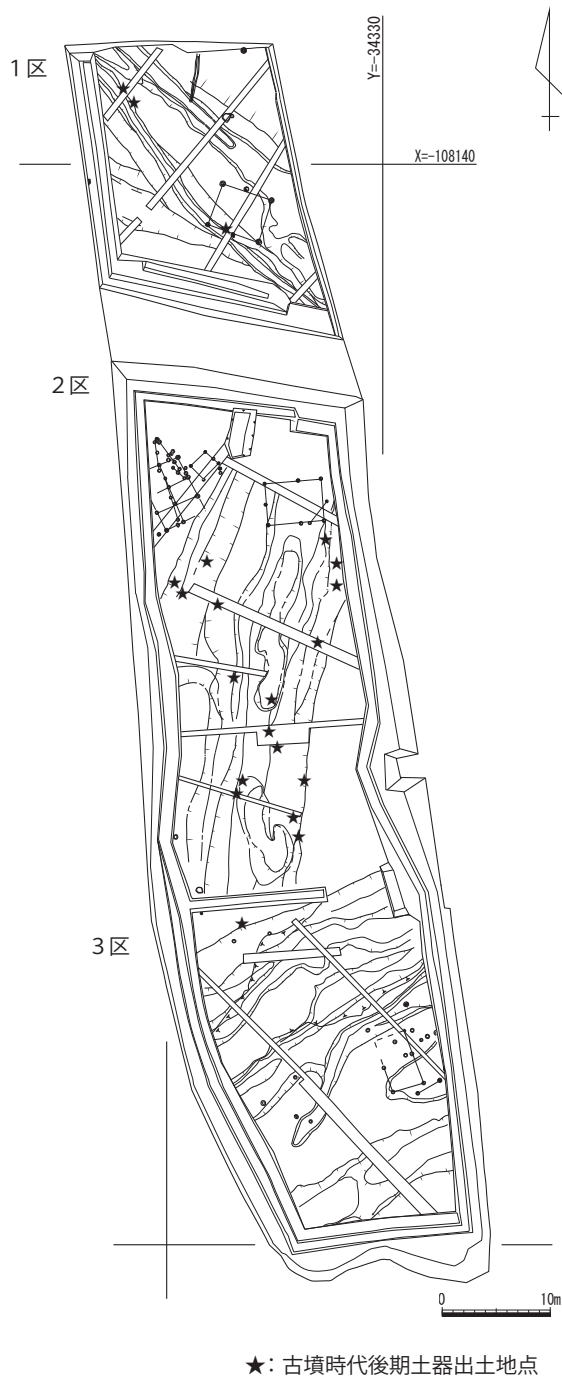
福田湯田遺跡 皿川旧流路（古墳時代後期）
出土土器①（北東から）



福田湯田遺跡 皿川旧流路（古墳時代後期）
出土土器②（北から）



福田湯田遺跡 中世後期の掘立柱建物（南から）



★：古墳時代後期土器出土地点

福田湯田遺跡 遺構配置図（1/700）

(3) 広域河川改修事業（干田川）に伴う発掘調査

向山遺跡

所在地：瀬戸内市長船町飯井2184-3

調査期間：令和6年4月15日～6月20日

担当者：氏平昭則・河野唯花

調査面積：400㎡

調査の経過

向山遺跡は、東から西へ流れる干田川に向かって南に張り出す丘陵上に位置する。今回の調査対象範囲は、昨年度の発掘調査の北側で、丘陵が干田川と接する部分にあたる。

調査の概要

調査前は2段の畑として開墾されていた。上段の畑は現代の造成により削平され、遺構は認められなかった。下段の畑では竪穴住居2軒、土坑2基と土器溜まり2か所などを検出した。



調査位置図 (1/25,000)

土坑1は最大径1.6m、深さ最大75cmを測る袋状土坑で、完形品に近い甕・鉢が床面から約10cm上の位置に集中して出土した。土器は弥生時代後期前葉を示している。竪穴住居1は残存で東西5.1m、南北3.2m、深さ最大80cmを測るが、大半が調査区外のため全形は不明である。底面付近で焼土面と貼り床・壁体溝、貼り床除去後に柱穴2本と中央穴を検出した。埋土中と床面で土器が見つかり、埋没時期は古墳時代前期と考えられる。竪穴住居2は1辺5mを測る方形を呈する。床面付近で土器が集中する部分が3か所程度あり、これらとは別の位置で碧玉製管玉1点が、壁体溝内からは鉄器片が出土した。出土土器から古墳時代前～中期にあたる。

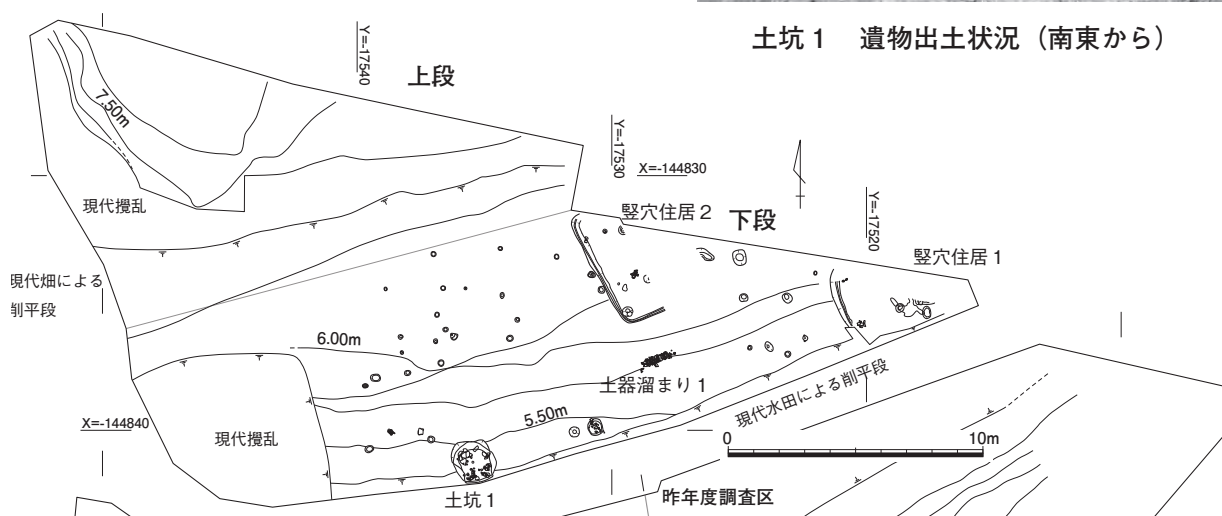
土器溜まり1は古墳時代前期の土器が東西1.4m、南北44cmに带状に分布したもので、掘り方は不明である。その他にピットを32基検出している。

今回の調査で、新たに弥生時代後期と古墳時代前期などの遺構を検出し、集落の一端が解明できた。

(氏平)



土坑1 遺物出土状況 (南東から)



遺構配置図 (1/300)

(4) 県道園井里庄線地方道路改築に伴う発掘調査

園井土井遺跡

所在地：笠岡市園井585-1ほか

調査期間：令和6年5月1日～9月30日

担当者：四田寛人・弘田和司・竹田千紘

調査面積：1,420㎡

調査の経過

園井土井遺跡は、笠岡市園井の諏訪神社がある丘陵の北側裾部に所在する。昭和59・60年度に岡山県教育委員会が実施した山陽自動車道建設に伴う発掘調査では、礎石建物を含む17棟の建物や、柵を伴う長さ30m以上の堀跡などがみつき、15～16世紀頃を中心とする一辺約60m四方の館跡と評価された。今回の調査区は、過去の調査地から北約100mの地点で、南北の丘陵に挟まれた谷部に位置する。



調査位置図 (1/25,000)

調査の概要

1区は谷部南側の最も高い場所に所在する。調査地には現代の造成土が厚く堆積していたが、基盤層の上で中世の遺物を含む包含層を確認し、炉2基、土坑1基、集石遺構1か所を検出した。炉はいずれも強い熱影響を受けており、地面を掘りくぼめた底部に粘土を貼り付け炉床としている。これらの遺構から出土した遺物は少なく、時期を推定する根拠に乏しいが、中世後半の遺構と考えられる。

2区は1区南東の地形が一段低くなった場所に位置する。表層から80～90cm下の黒褐色土層上面で掘立柱建物1棟、土器溜まり1か所、溝1条、基盤層上面で土坑5基を検出した。掘立柱建物の規模は2×1間で、桁行463cm以上、梁行378cmである。土器溜まりは掘立柱建物の東側に隣接し、約1.7×1.5mの範囲で土師器等の散布がみられた。出土遺物から、黒褐色土層上面で検出した遺構は14世紀以降に位置付けられ、基盤層上面の遺構はそれ以前に比定できる。

これらの調査区で検出した遺構は、過去の調査で知られた中世の館跡が営まれていた時期に近いと考えられ、館跡周辺での土地利用や生活痕跡を示す資料を得ることができた。(四田)



1区No.1炉作業風景 (西から)



2区土器溜まり検出状況 (北から)

(5) 水島港唐船線改築工事に伴う発掘調査

中津遺跡

所在地：倉敷市玉島黒崎718-1、718-2、719-1

調査期間：令和6年6月1日～10月31日

担当者：山口香織・高田恭一郎・森本 蓮（～9月） 調査面積：1,200㎡

調査の経過

中津遺跡は、竜王山塊裾の東に開けた扇状地に位置する縄文時代から中世の遺跡であり、令和6年度の調査地点は遺跡範囲の中央部に当たる。調査の結果、近年の耕作により上面を削平されていたものの、標高の下がる東半を中心に縄文時代から中世の遺構を確認した。



調査位置図（1/25,000）

調査の概要

縄文時代の遺構としては、調査区南東側から土坑2基、たわみ1か所を確認した。これらの遺構上を中心にハイガイを主体とする貝と黒褐色土からなる混貝土層が広がっており、出土遺物から縄文時代晩期に形成された層と考えられる。特に貝が密に堆積する箇所は東西約6m、南北約4m、厚さは最大で約20cmを測る。この中でも北半部からは、貝に混じって多量の礫がまとまって出土した。周辺からは、縄文時代後～晩期の土器、石鏃・石斧・石匙・石錘等の石製品、獣骨や魚骨、鹿角等が出土した。

古代の遺構としては、平安時代のたわみ1か所を確認した。ここからはほぼ完形の土師器杯・皿が出土した。

中世の遺構としては、鎌倉時代の掘立柱建物1棟を確認した。北側が調査区外へ広がるため未検出であるが、東西約8mを測る3間×2間以上の総柱建物と推定できる。この建物に伴う可能性のある溝を東西両側で検出しており、このうち東側の溝からは、完形の土師器碗のほか、土師質の鍋・カマド・鉢や銅銭等が出土した。この他に中世の土坑9基、溝3条を確認した。

中津遺跡範囲内の南側には、中津貝塚が所在しており、既往の調査により縄文時代後期の貝層や晩期の土坑墓等が確認されている。今回の調査により、縄文時代晩期の活動域が削平を受けているものの中津遺跡中央部まで部分的に残存していることが分かった。また、古代から中世にかけての集落が広がっていたことが改めて明らかとなった。（山口）



縄文時代晩期の混貝土層と礫（南西から）



鎌倉時代の掘立柱建物に伴う溝（北西から）

(6) 通常砂防事業（カナザコ川）に伴う発掘調査

至孝農遺跡

所在地：苫田郡鏡野町至孝農218-3ほか

調査期間：令和6年7月1日～10月31日

担当者：氏平昭則・西村 奏・河野唯花

調査面積：1,170㎡

調査の経過

至孝農遺跡は、吉井川西岸の谷部に位置する江戸時代の製鉄関連遺跡である。今回の調査対象範囲は、高殿（製鉄炉のある建物）周囲の作業施設が想定される位置に当たる。

調査の概要

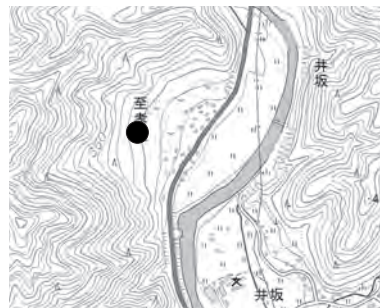
調査区を北東側の1区と南西側の2区に分けて調査を行った。1区では調査前から露出していたNo. 1・3石垣の他、No. 2石組みとNo. 1・3石垣上・下側にNo.11～14平坦面を確認した。

No. 1石垣は全長10m、全高1.5mを測る。その上・下側のNo.11・12平坦面は造成土を盛って築かれ、黄褐色土の整地土が部分的に施されていたが、遺構は検出できなかった。No. 3石垣は全長20m、全高1mに及ぶ調査地最長の石垣である。ただし上部が前面にせり出して崩落し残りは悪い。上・下側に造成土を伴うNo.13・14平坦面があるが、整地土やその他の遺構は見られなかった。

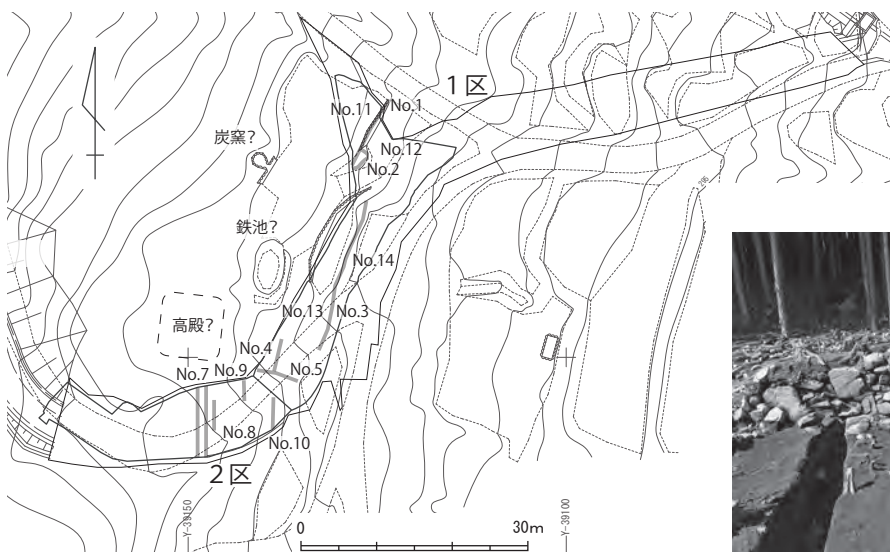
No. 3石垣の南端から2区西端までは、調査前は林道で碎石が敷設されていた。これを除去するとその下に鉄滓堆積層が存在したので、層中の鉄滓・炉壁の重量計測や磁性・形状による分類・抽出を実施しながら掘削を進めた。鉄滓堆積層の下では、地山直上で基底部付近が残存しているNo. 4・5・7～10石垣を検出した。このうち、No. 7石垣は東西両側に石積みを施した土手状の遺構である。2区の西側では、現代の攪乱のため遺構は残っていなかった。

造成土・鉄滓堆積層からは鉄滓・炉壁以外に陶器、磁器（染付）、銅銭と鉄器が出土した。鉄滓のほとんどは製鉄に関わる精錬滓だが、No. 3石垣南端付近に大鍛冶に伴う鍛冶滓が集中して見られた。

今回の調査では、石垣を築いた平坦面を壊して排滓場として作り替えられたことがわかり、操業のあり方を示す一例として貴重な成果と言えるだろう。（氏平）



調査位置図 (1/25,000)



遺構配置図 (1/1,000)



No.1 石垣 (南東から)

第3節 「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業

史跡備中国分尼寺跡ほか保存活用総合調査

担当者：松尾佳子・藤井雅大・平野友梨

1 事業の経緯

総社市南東部から岡山市西部一帯にあるいわゆる「吉備路風土記の丘」には、全国的に著名な史跡が数多く分布する。備中国分尼寺跡は、天平13（741）年に聖武天皇の命により建立された国分二寺の1つで、大正11（1922）年国史跡に指定されている。

古代吉備文化財センターは、令和5年度から「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業として、備中国分寺跡及び備中国分尼寺跡の過去の発掘調査成果の再整理を含めた総合調査を開始した。

令和6年度は、令和5年度に引き続き史跡の保護・保存の指針となる保存活用計画の策定、史跡整備等を実施するための情報を得ることを目的とした、史跡備中国分尼寺跡の伽藍地内の発掘調査及び報告書作成を行い、それらの成果を周知するために公開活用事業を実施した。

2 事業の概要

発掘調査

令和6年度は、中門、金堂、講堂、北門と北辺の築地について、それぞれの規模と構造を明らかにするために発掘調査を実施した。調査は令和6年6月3日から令和6年10月31日まで行い、調査面積は345㎡である。

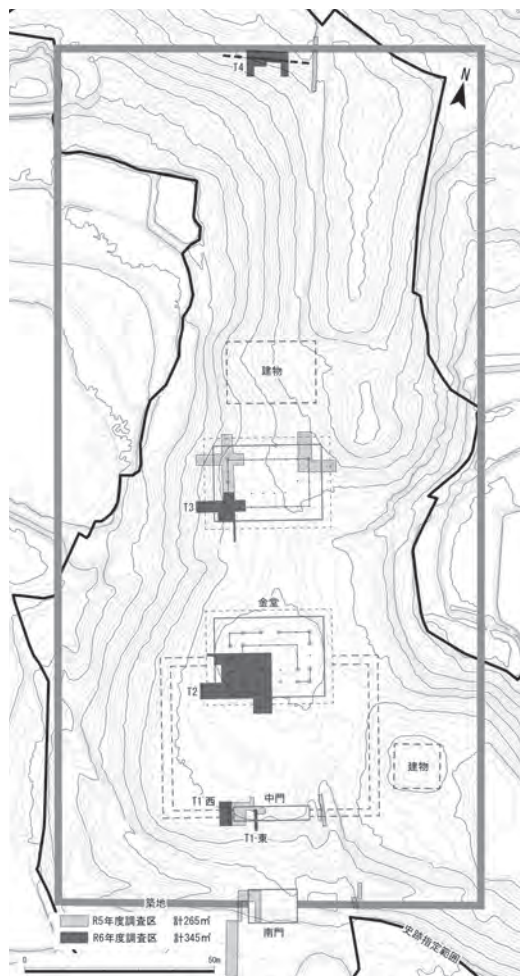
その結果、各施設において、規模と構造の一端を明らかにすることができた。金堂は創建時から基壇外装や中央部の階段を設けず、平安時代（10世紀頃）に基壇の一部が修復されたことを確認した。その後金堂は、平安時代（11世紀初頭頃）の火災で焼け落ち、再建されることはなかったと推察される。



金堂跡（北西から）



調査位置図（1/25,000）



備中国分尼寺跡調査区配置図（1/2,000）

第4章 調査の概要

北辺の調査区（T4）では、調査区内で北門を検出できなかったが、現在の散策道に沿って東西方向に延びる畝状の高まりが北辺築地の一部であることを確認した。北門の存在や金堂院を囲繞する施設の有無については、今後の課題として残る。

報告書作成

昭和46（1971）年度、備中国分寺跡及び備中国分尼寺跡の調査出土遺物についての再整理及び令和5・6年度調査出土遺物整理を実施した。また、関連調査として全国の国分寺及び国分尼寺との比較研究、関連瓦の調査を行った。

公開活用事業

発掘調査の成果は9月14日に現地説明会、続く9月17日～19日の3日間に現地公開を開催し、計263名の参加を得た。また、発掘調査実施時に随時見学対応を行ったところ、5か月で1,745名の来跡があり、調査への関心の高さが窺える。

また、総社市と連携し、11月3日開催の「そうじゃ吉備路ウォーキング大会」で、ウォーキング中の参加者（322名）に史跡備中国分尼寺跡の説明を行った。備中国分尼寺跡の発掘調査成果について分かりやすく伝えるため、パンフレット『史跡備中国分尼寺跡』を刊行し、12月7日開催の吉備路ウォーク（参加者37名）時に配付、あわせて観光案内所等に配架した。令和5年度から継続して、発掘調査に伴って出土する奈良時代の瓦について製作技術復元に挑戦する動画『復元！古代瓦』シリーズを配信した。令和7年3月31日現在、シリーズ総計7,039回の再生があった。

（藤井雅）



パンフレット『史跡備中国分尼寺跡』



現地説明会の様子



動画『復元！古代瓦』はこちらから



吉備路ウォークの様子

岡山県古代吉備文化財センター年報 4
＜ 令和 6 年度 ＞

令和 7 年 10 月 31 日 印刷
令和 7 年 10 月 31 日 刊行

発行 岡山県古代吉備文化財センター
岡山市北区西花尻 1325-3
TEL 086-293-3211

印刷 サンコー印刷株式会社
岡山県総社市駅南 1-1-5

